

---

---

# 山ノ内町公共施設個別施設計画

---

---

令和3年3月

山ノ内町



## 目 次

第1章 計画のあらまし	
第1節 計画策定の背景と目的等	
1 計画策定の背景	2
2 計画の目的と位置づけ	3
3 計画期間と対象施設	4
第2節 人口・財政状況	
1 人口動向	6
2 財政状況	7
第3節 総合管理計画の概要	8
第2章 公共施設の現状と課題	
第1節 管理状況	
1 保有状況	12
2 劣化状況	16
3 施設関連経費	18
第2節 運営・利用状況	
1 運営状況	20
2 利用状況	22
第3節 公共施設の課題	26
第3章 公共施設整備の基本方針	
第1節 理念・基本原則	
1 理念	30
2 基本原則	31
第2節 基本方針	
1 運営・管理の方針	32
2 適正配置の方針	32
3 更新の方針	33
4 点検・修繕の方針	34
5 改修の方針	35
第3節 類型別方針	
1 文化・コミュニティ・学校施設	36
2 子育て支援・健康福祉・住宅施設	38
3 観光・農林施設	40
4 行政施設（消防・庁舎等施設）	42
第4節 長期的な事業の見通し	
1 維持・更新コスト	44
2 縮減効果	46
3 類型別方針に基づく長期的な事業の見通し	48

## 第4章 公共施設整備計画

### 第1節 事業方針

1 事業量の平準化 .....	54
2 優先順位の設定 .....	56
3 年度別整備計画 .....	58

### 第2節 計画の継続的運用

1 情報基盤の整備と活用 .....	60
2 推進体制の構築 .....	60
3 フォローアップ .....	61
4 今後の課題 .....	61

### 資料 建築・設備関連データ

建築概要 .....	2
建築データ .....	4
設備データ .....	6
設計・点検図書 .....	8
法定点検 .....	10
劣化評価結果 .....	12
施設関連整備費 .....	14
事前調査結果（劣化状況） .....	16
事前調査結果（今後の方針） .....	18
修繕・改修履歴 .....	20

計画のあらし

第 1 章

## 第1節 計画策定の背景と目的等

### 1 計画策定の背景

我が国において公共施設の老朽化対策が大きな課題となっており、地方公共団体においては、厳しい財政状況が続く中で、今後、人口減少等により公共施設の利用需要が変化していくことが予想されています。

こうした状況の中で、早急に公共施設の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、複合・集約化、長寿命化、更新などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の最適な配置を実現することが必要となっています。

国においては、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）に基づき、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、地方公共団体においても行動計画（公共施設等総合管理計画）及び個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を策定し、これらの計画に基づき点検等を実施した上で適切な措置を講じることが求められています。

本町においても、継続的・積極的に整備を進めた結果、多くの公共施設を保有するに至っており、今後、これら施設の老朽化が進み、大規模な改修や更新（建替・再整備）の時期を迎えることから、財政にとって大きな負担となることが予想されます。

こうした状況を踏まえ、公共施設等に関する基本的な考え方や全体目標、取組み等について定める行動計画として、「山ノ内町公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を平成28年度に策定しています。

#### 個別施設計画に記載すべき事項

##### ①対象施設

公共施設等総合管理計画において、個別施設計画を策定することとした施設を対象とする。計画の策定に当たっては、各施設の維持管理・更新等に係る取組状況や利用状況等に鑑み、個別施設のメンテナンスサイクルを計画的に実行する上で最も効率的・効果的と考えられる計画策定の単位（例えば、事業毎の分類（道路、下水道等）や、構造物毎の分類（橋梁、トンネル、管路等）等）を設定の上、その単位毎に計画を策定する。

##### ②計画期間

インフラの状態は、経年劣化や疲労等によって時々刻々と変化することから、定期点検サイクル等を考慮の上計画期間を設定し、点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新するものとする。

本基本計画で示す取組を通じ、知見やノウハウの蓄積を進め、計画期間の長期化を図ることで、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの見通しの精度向上を図る。

##### ③対策の優先順位の考え方

個別施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）の他、施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等、対策を実施する際に考慮すべき事項を設定の上、それらに基づく優先順位の考え方を明確化する。

##### ④個別施設の状態等

点検・診断によって得られた個別施設の状態について、施設毎に整理する。なお、点検・診断を未実施の施設については、点検実施時期を明記する。また、対策の優先順位の考え方で明らかにした事項のうち、個別施設の状態以外の事項について、必要な情報を整理する。

##### ⑤対策内容と実施時期

対策の優先順位の考え方、個別施設の状態等を踏まえ、次回の点検・診断や修繕・更新、更には、更新の機会を捉えた機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施時期を施設毎に整理する。

##### ⑥対策費用

計画期間内に要する対策費用の概算を整理する。

（インフラ長寿命化基本計画）

## 2 計画の目的と位置づけ

### (1) 計画の目的

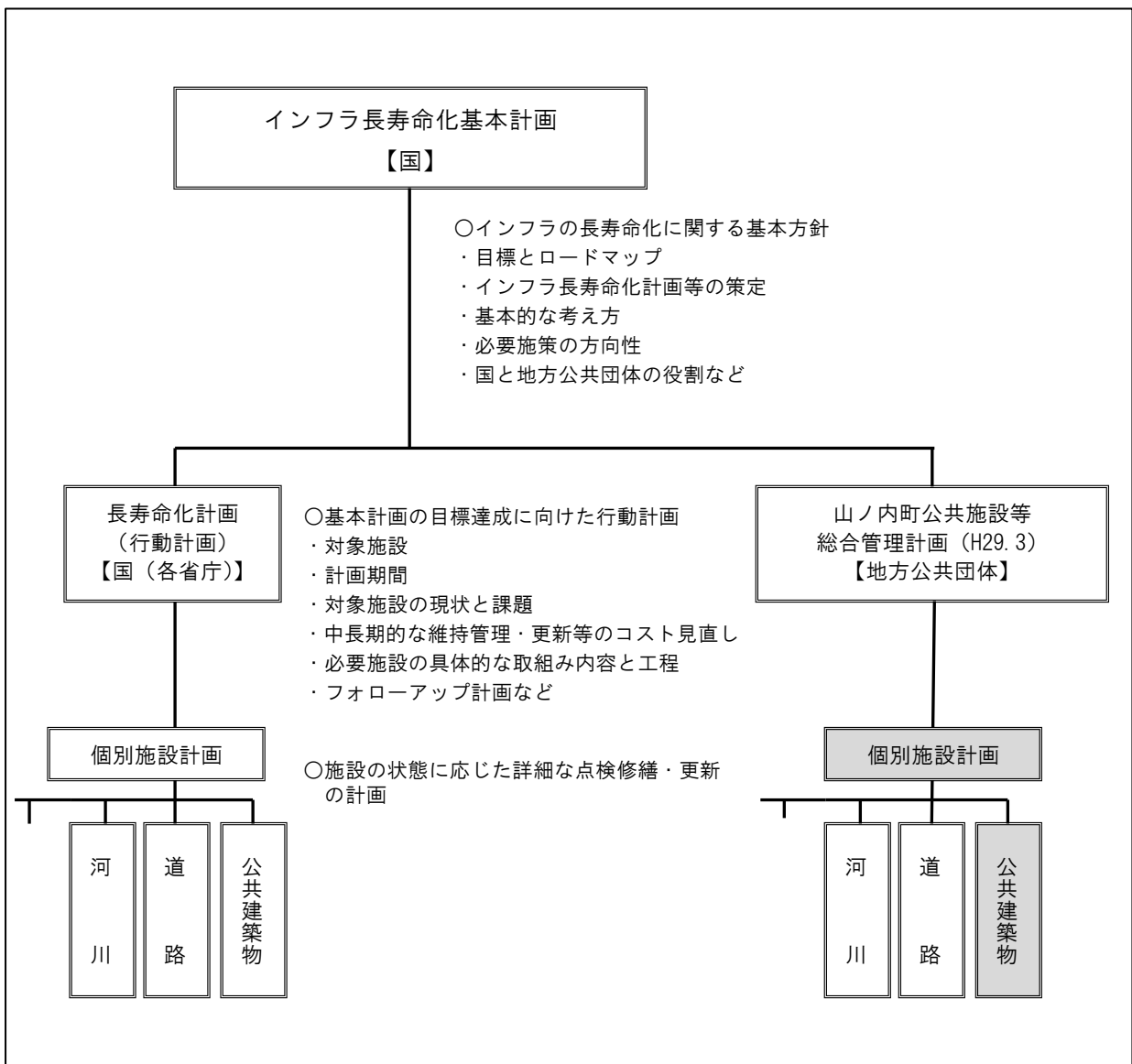
「総合管理計画」の具体化に向けた取組みを推進するにあたり、公共建築物について、中長期的な視点から、施設保有量の適正化と長寿命化、財政負担の軽減を図るための計画的な維持・更新を実施する必要があります。

本計画は、公共施設の維持・更新及び予算規模に応じた費用の平準化、優先づけ等を行うことで事業実施の有無や実施時期を適切に判断し、着実な事業実施が可能となる整備方針を示すことを目的とするものです。

### (2) 計画の位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、行動計画として策定した「総合管理計画」を上位計画とし、財政状況を踏まえた各公共施設の改修や更新の実施時期の適正化を図るための「個別施設計画」として位置づけられる計画です。

計画の位置づけ



### 3 計画期間と対象施設

#### (1) 計画期間

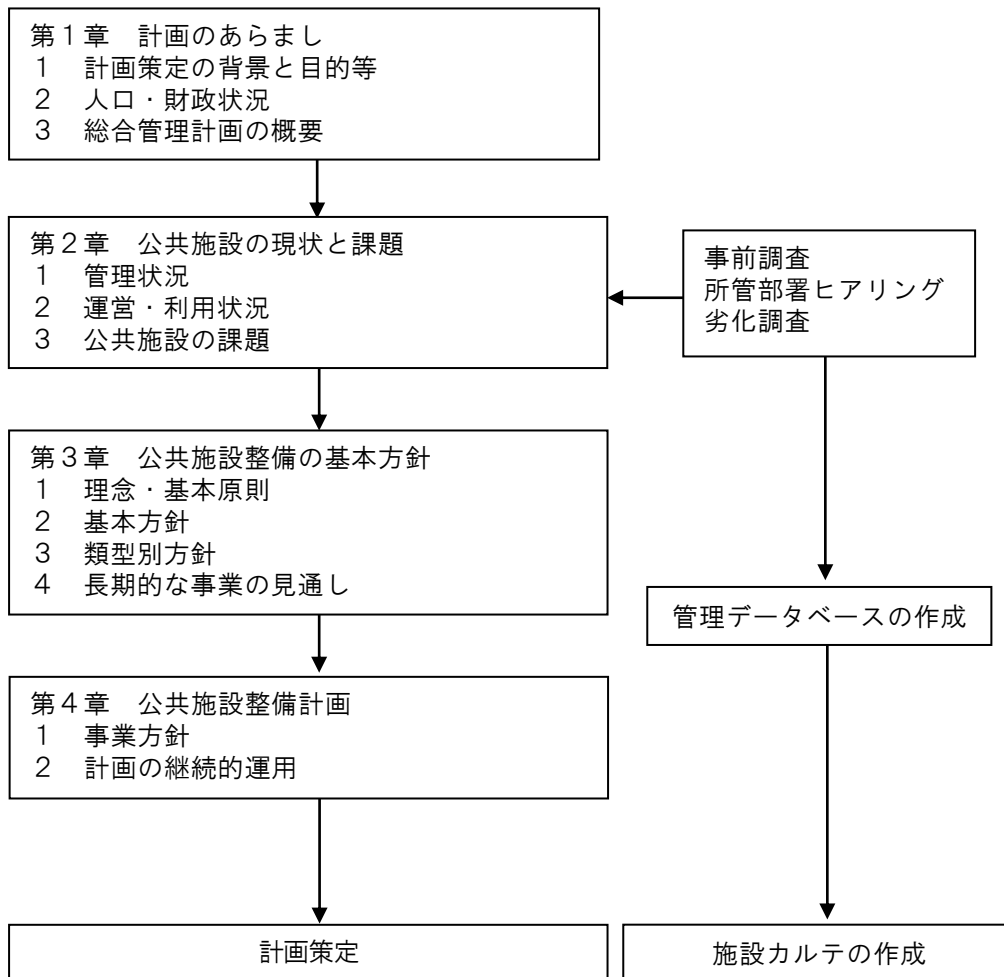
本計画は、令和 38 年度（2056 年度）までの長期的な見通しを考慮しつつ、「総合管理計画」の計画期間である令和 12 年度（2030 年度）までの 10 年間の計画期間とします。

本計画は、全庁的な協議を踏まえて策定しますが、今後の社会経済情勢の変化及び施策効果に対する評価を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

計画期間

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
公共施設等総合管理計画	策定	計画期間 2017 年度～2030 年度													
公共施設個別施設計画				策定	計画期間 2021 年度～2030 年度										

策定のフロー



#### (2) 対象施設

計画の対象となる公共施設（建築物）は 78 施設とし、所管部署別の類型により計画を作成します。



対象施設

	施設名	所管	棟数	付帯施設
文化・コミュニティ施設	文化センター	教育委員会	1	
	蟻川図書館		1	
	ほなみふれあいセンター		2	
	よませふれあいセンター		2	
	(仮称)すがかわふれあいセンター		1	
	北部公民館		1	
	志賀高原ロマン美術館		1	
	社会体育館		1	
	すがかわ体育館		2	地下通路
	西館ゴールハウス		1	
学校施設	東小教員住宅	教育委員会	2	
	南小教員住宅		2	
	西小教員住宅		1	
	中学教員住宅		2	
	東小学校		6	更衣室、機械室
	南小学校		4	プール更衣室、プール機械室
	西小学校		8	更衣室、機械室、便所・機械室、プール倉庫
	山ノ内中学校		9	機械室、便所、器具庫、更衣室
	学校給食センター		1	
	子育て支援施設		志賀高原保育園	健康福祉課
ほなみ保育園		1		
よませ保育園		2	機械室	
すがかわ保育園		1		
かえで保育園		1		
旧泉保育園		1		
子育て支援センターゆめっこ		1		
健康福祉施設	屋内ゲートボール場	健康福祉課	1	
	地域福祉センター		2	
	保健センター		1	
	旧北部診療所		1	
	清掃事業所		2	車庫
	町営湯ノ原団地		18	集会所
住宅施設	町営座王団地	建設水道課	5	
	町民住宅		1	
観光施設	志賀高原総合会館 98	観光商工課	1	
	志賀高原総合案内所		1	
	情報物産館		3	
	やまびこ広場		4	倉庫、便所、ステージ棟
	楓の湯		2	楓の館
	信玄かま風呂資料展示場		1	
	渋温泉駐車場		2	
	横湯公衆便所		1	
	平和観音公衆便所		1	
	木戸池公衆便所		1	
	清水公衆便所		1	
	硯川公衆便所		1	
	沓打公衆便所		1	
	丸池公衆便所		1	
	長池公衆便所		1	
農林施設	よませ活性化センター	農林課	1	
	志賀高原地域交流センター		1	
	生活改善センター		1	
	種菌培養センター		3	
	農産物加工センター		1	
庁舎等施設	町役場庁舎	総務課	2	倉庫
	役場分室		2	車庫
	大悲殿		1	
	旧和合保育園		1	
	田舎暮らし体験住宅		1	
消防施設	山ノ内消防署	消防課	1	
	金安コミュニティ消防センター		1	
	渋温泉コミュニティ消防センター		1	
	東部分団沓野部詰所		1	
	東部分団湯田中部詰所		1	
	東部分団上条部器具置場		1	
	南部分団佐野コミュニティ消防センター		1	
	南部分団寒沢部器具置場		1	
	南部分団菅部器具置場		1	
	南部分団戸狩部詰所		1	
	南部分団佐野部器具置場		1	
	南部分団穂波温泉部詰所		1	
	西部分団横前コミュニティ消防センター		1	
	西部分団宇木コミュニティ消防センター		1	
	西部分団コミュニティ消防センター		1	
	北部分団表落合部詰所		1	
	北部分団詰所		1	
	北部分団乗廻コミュニティ消防センター		1	
	有線本部庁舎跡資材庫		1	

## 第2節 人口・財政状況

### 1 人口動向

#### (1) 総人口

総人口は、平成27年が12,429人で、平成7年以降減少傾向が続いており、令和27年には8,635人になると予想され、平成27年と比較すると30年間で3,794人(30.5%)の減少となります。

#### (2) 年少人口

年少人口(0～14歳)は、平成27年が1,214人で、平成7年以降減少傾向であり、令和27年には1,081人(総人口の12.5%)になると予想され、平成27年と比較すると30年間で133人(11.0%)の減少となり、少子化が一層進みます。

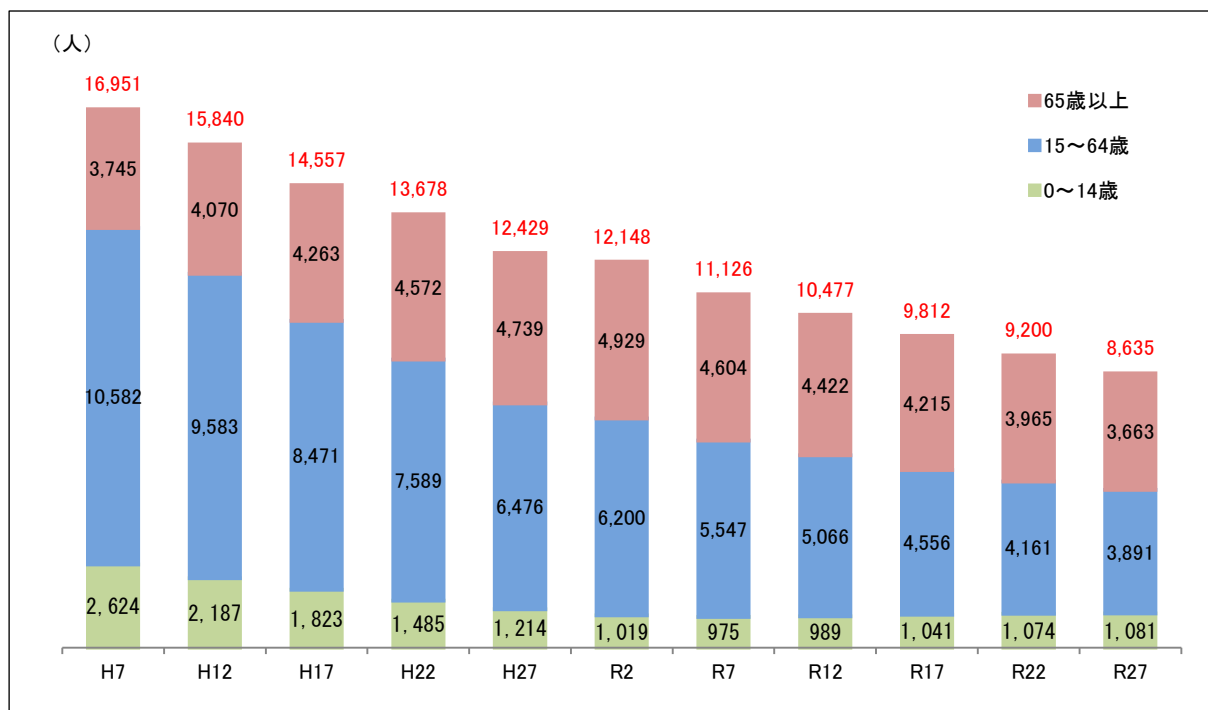
#### (3) 生産年齢人口

生産年齢人口(15～64歳)は、平成27年が6,476人で、平成7年以降減少傾向であり、令和27年には3,891人(総人口の45.1%)になると予想され、平成27年と比較すると30年間で2,585人(39.9%)の減少となります。

#### (4) 老年人口

老年人口(65歳以上)は、平成27年が4,739人で、平成7年以降増加傾向でしたが、令和27年には3,663人(総人口の42.4%)になると予想され、平成27年と比較すると30年間で1,076人(22.7%)の減少となります。

人口推移



※R2以降は第2期山ノ内町人口ビジョン 山ノ内町の将来人口推計

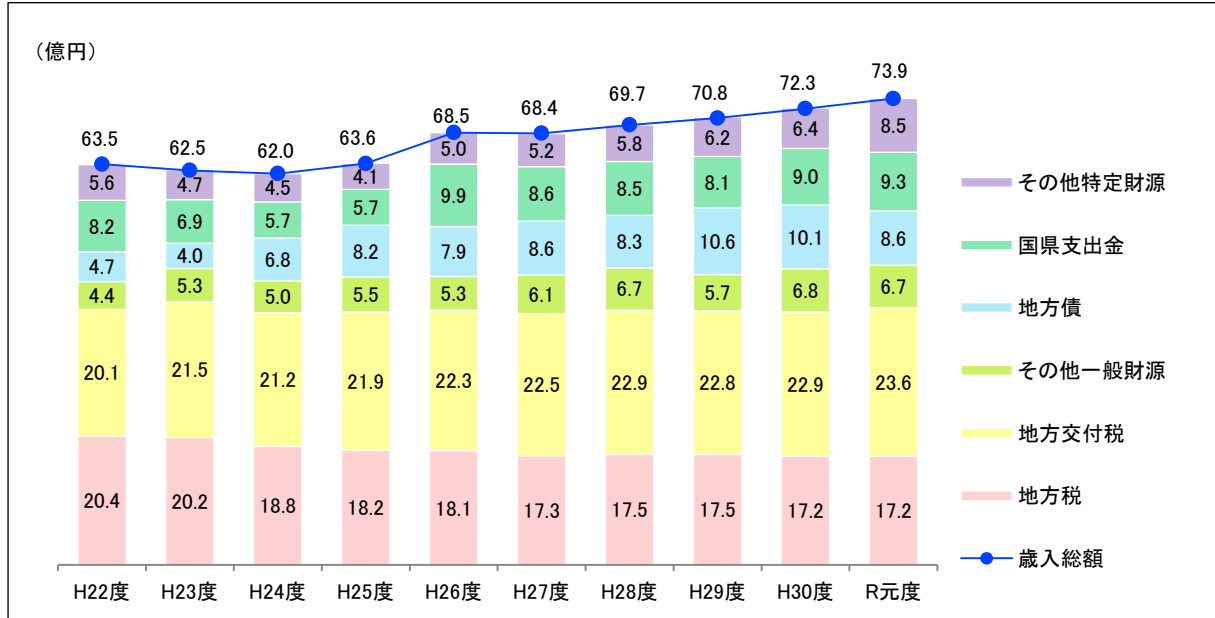
※総数には年齢不詳を含むため、合計は総数に一致しない。

## 2 財政状況

### (1) 歳入

歳入は、過去10年間では62億円～73億9,000万円で推移しており、近年は増加傾向にあり、内訳をみると、地方交付税が最も多く、次いで地方税の順となっています。

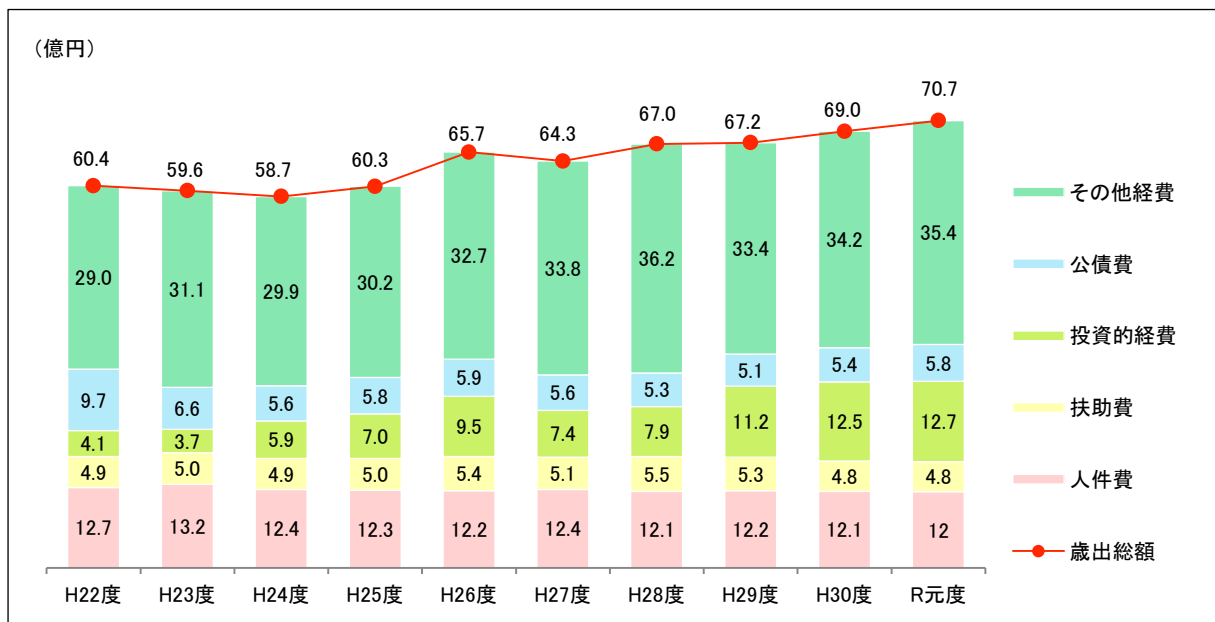
歳入の推移



### (2) 歳出

歳出は、過去10年間では58億7,000万円～70億7,000万円で推移しており、近年は増加傾向にあり、内訳をみると、人件費と扶助費<sup>※1</sup>は、ほぼ横ばいで、投資的経費<sup>※2</sup>は増加傾向となっています。

歳出の推移



※<sup>1</sup> 扶助費：社会保障制度の一環として生活困窮者、高齢者、児童、障害者等に対して行う支援に要する経費

※<sup>2</sup> 投資的経費：公共施設、道路の建設や用地購入など社会資本の形成に資する経費

### 第3節 総合管理計画の概要

【施設総量の縮減目標：令和12年度（2030年度）まで15%縮減】

#### 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

##### （1）点検・診断等の実施方針

- ・ 日常点検と定期・臨時点検を実施し、点検履歴を記録、集積・蓄積して老朽化対策に活用
- ・ 点検により得た情報で他の施設にも該当する事項は各施設管理者間で情報を共有
- ・ 予防保全型維持管理の視点に立って必要に応じて点検や劣化診断を効果的に実施

##### （2）維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ・ 点検や劣化診断を計画的・効率的に行い、維持管理費・修繕費の平準化、コストを縮減
- ・ 更新する場合は長期使用の可能性とともに、施設のコンパクト化や効率化の観点から、統合や複合化を検討
- ・ 施設の取り壊しに際しては、優先順位を付けて実施して事業費等を削減、平準化
- ・ 維持管理・修繕・更新等の履歴を集積・蓄積することで老朽化対策等に活用
- ・ 施設の整備、運営は、効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる事業についてPFIなどの民間の資金、経営能力、技術的能力を活用することも検討

##### （3）安全確保の実施方針

- ・ 危険性が高い施設で利用、効用等の高い施設は速やかに安全確保及び長寿命化対策を実施
- ・ 老朽化等により供用廃止され、かつ今後も施設の利用、効用等が低く転用や売却の困難な施設は、取り壊し等を視野に入れ安全を確保

##### （4）耐震化の実施方針

- ・ 施設の利用、効用等の高い施設は、利用者の安全性の確保及び災害時に適確に機能を発揮できるよう、引き続き防災・耐震性能等を向上
- ・ 耐震化未実施の施設は、耐震性のある既存建物への機能移転や更新による耐震化も検討

##### （5）長寿命化の実施方針

- ・ 点検・保守・修繕、清掃・廃棄物管理等を計画的に実施し、施設の健康な状況を確認
- ・ 定期的に診断を行い、小規模改修で不具合箇所を是正するなど予防保全により施設を長期使用
- ・ 町営住宅は、策定済みの「山ノ内町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、維持管理、修繕、更新等を実施し、その他の施設は、必要に応じて個別に長寿命化計画等の策定を検討

##### （6）統合や廃止の推進方針

- ・ 利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、積極的に既存施設の有効活用及び売却等を行い、可能な限り新規の施設整備は抑制
- ・ 施設再編や国・県及び民間施設の利用・合築等を視野に入れ、複合化等による機能維持を図りながら施設総量を縮減
- ・ 統合・廃止により余剰となった施設は、取り壊しを進め、安全面の確保や景観の確保及び事業費等の削減、平準化

##### （7）総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- ・ 所管課をはじめとして企画、財政等の各課で情報を共有し、関係課との調整を図りつつ、全庁横断的な推進体制を構築
- ・ 必要に応じて職員研修を行い、公共施設等マネジメントのあり方、経営的視点に立った総量の適正化、保全的な維持管理及びコスト感覚に対する意識を向上
- ・ 計画の実施は、町民、有識者、議会との情報の共有化による意見の反映

類型別の方針

	維持管理・更新等の方針	統合・廃止の方針
文化系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の約半数は、昭和40年～60年代に建設されているため、今後建替え等の更新費用負担を軽減するためにも、施設の適切な維持管理を行い、必要な修繕を実施していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のサービス水準の低下を招かない取組みを最優先とし、老朽化が著しい施設や利用度・稼働率が低い施設については、施設の複合化・集約化・面積の縮減や廃止等を検討します。</li> </ul>
社会教育系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の建替え等の更新費用負担を軽減するためにも、施設の適切な維持管理を行い、必要な修繕を実施していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の効果的な運営を図るため、より効果的な活用ができるよう運営方式も含めて施設のあり方を検討します。</li> </ul>
スポーツ・レクリエーション系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の建替え等の更新費用負担を軽減するためにも、施設の適切な維持管理を行い、必要な修繕を実施していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用実績が減少している施設については、将来的に利用実績の状況を鑑みて、より効果的な活用ができるよう運営方式も含めて施設のあり方を検討します。</li> </ul>
学校教育系・子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築後30年以上が経過している施設は、大規模な改修が必要になることが見込まれます。今後も継続的に利用していくため、適切な維持管理、適時修繕を行い、計画的に一定規模の改修や更新を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の学校施設については、少子化により児童数が減少してきていることから、小学校の統合化や、小中一貫教育も視野に入れ、将来の施設の在り方（転用、複合化、集約化）を含め、必要に応じて関係する所管課と連携しながら改修等について検討していきます。</li> </ul>
保健・福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検及び診断等の結果に基づいて、施設の適切な維持管理を図り、必要な修繕を行うことで、コストの縮減・平準化を実施していきます。また、更新等については、施設の必要性や需要を考慮します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設とも指定管理者制度による運営の継続等、今後の管理・運営方法について検討を進めます。</li> </ul>
町営住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検の結果を踏まえ、早期の段階に予防的な修繕を実施することで、既存ストックの適正な維持管理に努めるとともに、修繕等の履歴を集積・蓄積し、老朽化対策等に活かしていきます。</li> <li>「山ノ内町公営住宅等長寿命化計画」に基づく計画的な修繕・更新を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化が著しく耐震性を確保できない住宅については、「山ノ内町公営住宅等長寿命化計画」期間内に今後の方針を検討することとし、計画的な修繕を行いながら、安全で安心な町営住宅の供給を推進します。</li> <li>今後10年以内に建築後30年を経過する町営住宅は、計画的に住宅改修や建替えを検討します。</li> </ul>
観光・農林等施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検・診断により修繕等が必要となった場合は、適正に対処し維持管理を行っていきます。</li> <li>更新等については、施設の必要性や需要を考慮します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化が著しく耐震性を確保できない施設については、取り壊しも視野に入れて検討し、安全で安心な施設の供給を推進します。</li> <li>各施設の目的や用途に応じた管理手法を施設ごとに検討し、実施していきます。</li> </ul>
行政系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検や診断結果等に基づき、維持管理、修繕を行うことで、トータルコストの縮減・平準化に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、各消防詰所及び器具置場等のあり方について検討します。</li> </ul>



## 公共施設の現状と課題

---

# 第2章

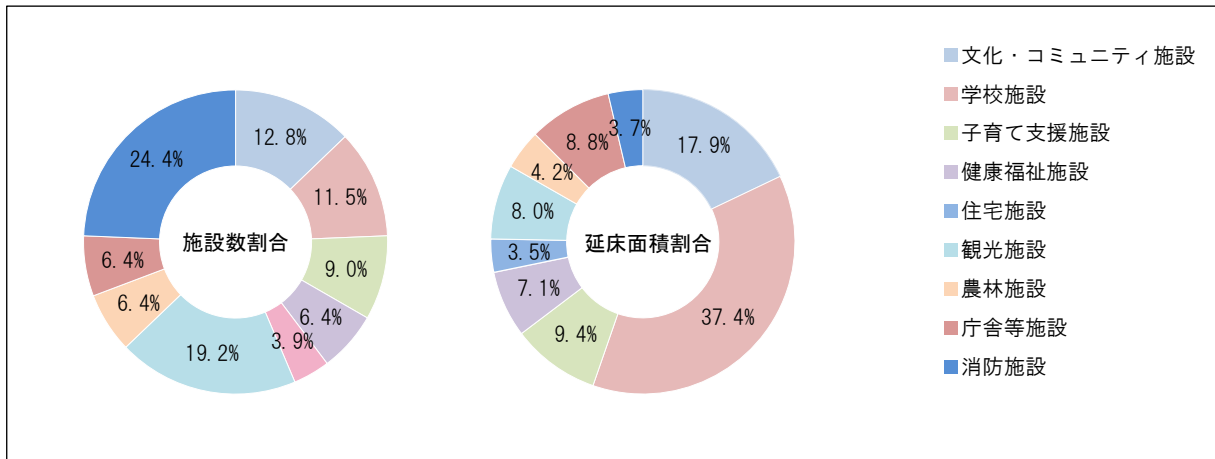
# 第1節 管理状況

## 1 保有状況

### (1) 施設数・施設量

保有する施設は78施設75,400㎡（令和2年4月1日現在）で、施設数では消防施設が最も多く、次いで観光施設、文化・コミュニティ施設であり、延床面積では学校施設が最も多く、次いで文化・コミュニティ施設、子育て支援施設、庁舎等施設の順となっています。

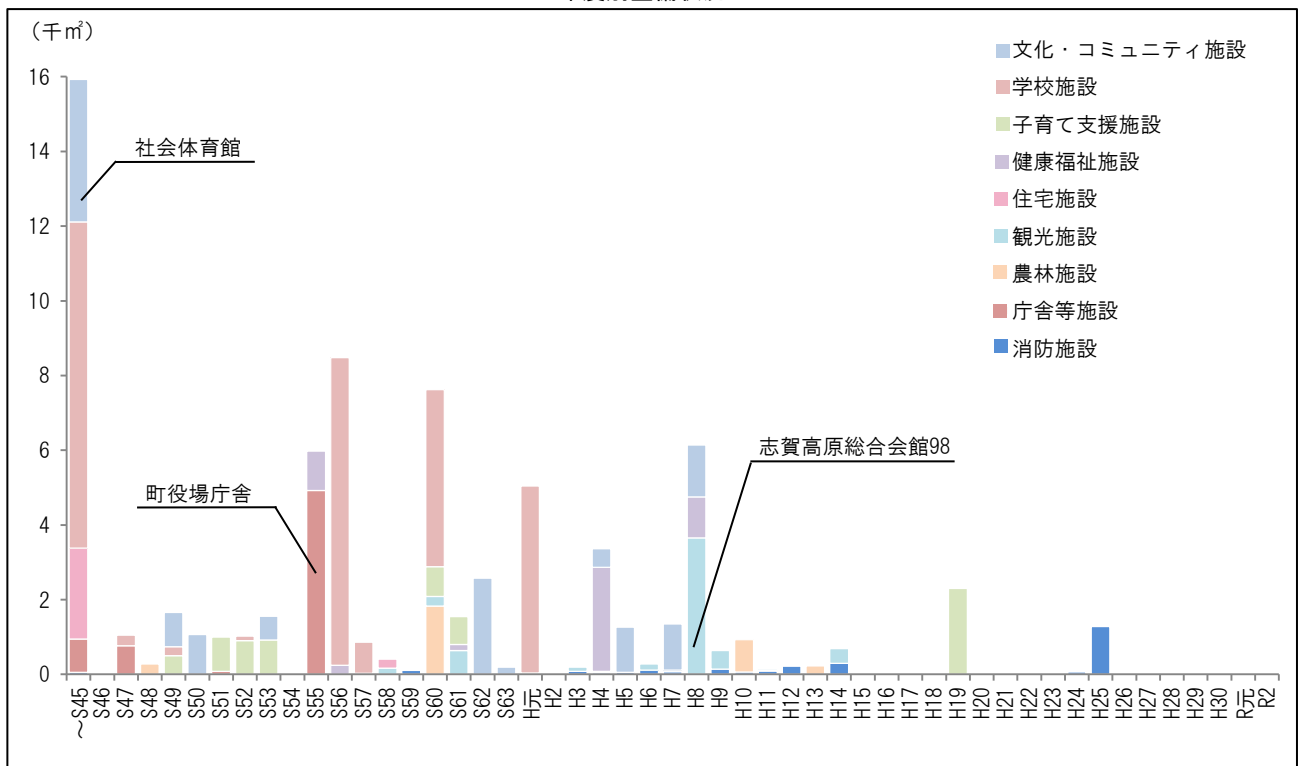
類型別割合



### (2) 年度別状況

年度別の状況を見ると、昭和46年以降では昭和56年が最も多く、次いで昭和60年、平成8年、昭和55年の順となっています。

年度別整備状況



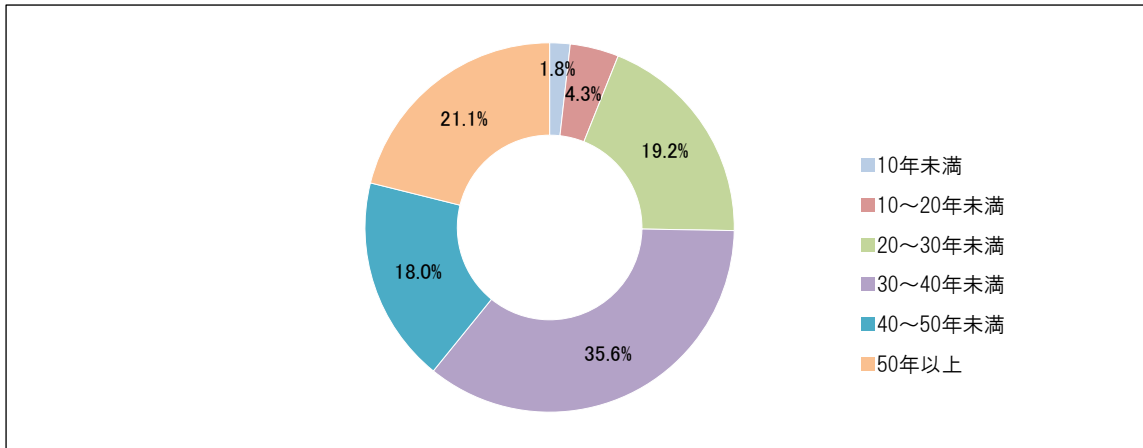


### (3) 経過年数

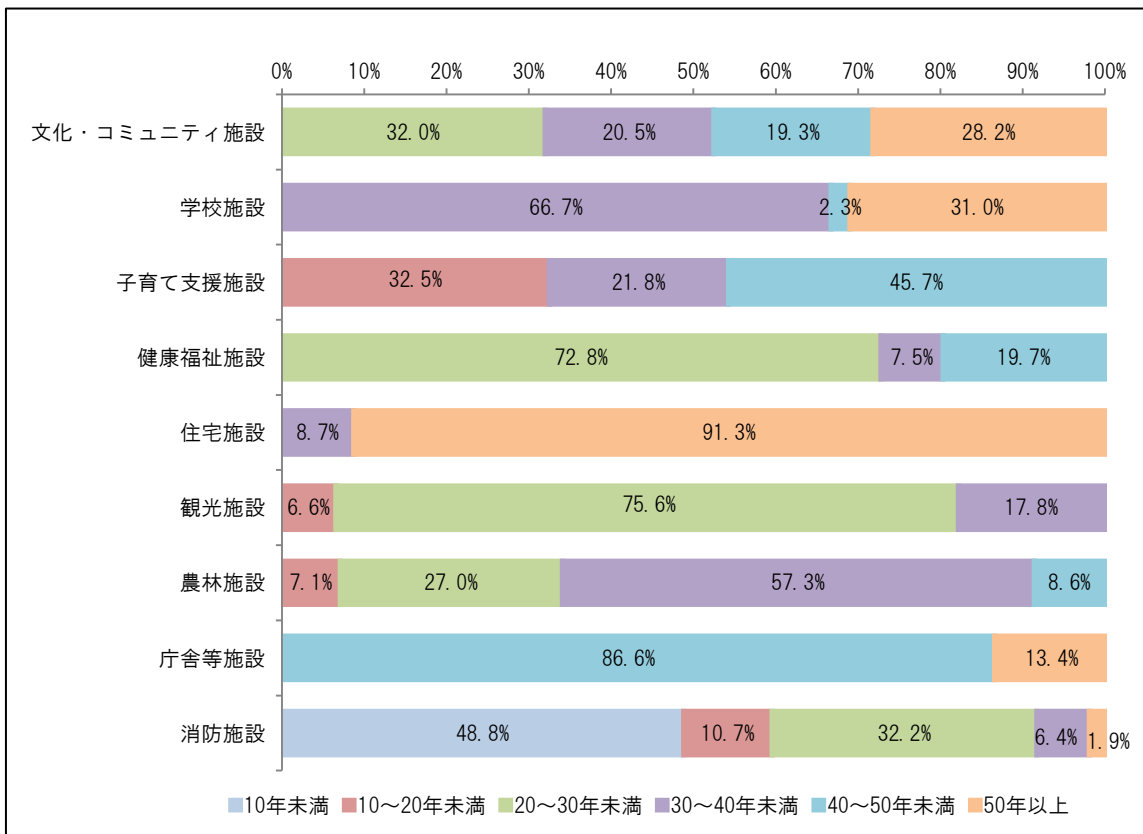
施設全体では 30～40 年未満が 35.6%と最も多く、次いで 50 年以上 21.1%、20～30 年未満 19.2%の順となっています。

類型別にみると、住宅施設は 50 年以上が 91.3%を占めて老朽化が著しいほか、学校施設、文化・コミュニティ施設も老朽化が進んでいます。

施設全体の経過年数別割合



類型別経過年数別割合



#### (4) 耐震

昭和 56 年以前の旧耐震基準で整備された施設のうち、耐震改修を実施しているのは、すがかわ体育館、東小学校、山ノ内中学校、志賀高原保育園、ほなみ保育園、よませ保育園、町役場庁舎です。

#### (5) 主な改修履歴

最近 10 年間で大規模な改修を行った施設は、すがかわ体育館、山ノ内中学校、学校給食センター、志賀高原保育園、ほなみ保育園、よませ保育園、町営湯ノ原団地、志賀高原総合会館 98、情報物産館、やまびこ広場、町役場庁舎です。

施設概要

類型	施設名	代表建築年度	経過年数	総延床面積 (㎡)	棟数	旧耐震耐震性※	主な改修
文化・コミュニティ施設	文化センター	S62	33	2,577	1	—	
	蟻川図書館	H4	28	494	1	—	
	ほなみふれあいセンター	H5	27	1,207	2	—	
	よませふれあいセンター	H7	25	1,229	2	—	
	(仮称) すがかわふれあいセンター	S49	46	910	1	—	
	北部公民館	S53	42	633	1	不明	
	志賀高原ロマン美術館	H8	24	1,389	1	—	
	社会体育館	S44	51	3,812	1	不明	
	すがかわ体育館	S50	45	1,068	2	○	H29 屋根外壁等改修
西館ゴールハウス	S63	32	195	1	—		
学校施設	東小教員住宅	S56	39	389	2	不明	
	南小教員住宅	S49	46	244	2	不明	
	西小教員住宅	S52	43	122	1	不明	
	中学教員住宅	S47	48	289	2	不明	
	東小学校	S56	39	7,846	6	○	
	南小学校	H 元	31	5,002	4	—	
	西小学校	S60	35	4,734	8	—	
	山ノ内中学校	S37	58	8,735	9	○	H28 体育館屋根外壁等改修 H30 教室棟屋根外壁等改修 R 元 管理棟屋根外壁等改修
学校給食センター	S57	38	829	1	—	H27～H29 内装等改修	
子育て支援施設	志賀高原保育園	S49	46	500	1	○	H29 屋根改修、R 元 耐震改修
	ほなみ保育園	S51	44	916	1	○	H25 耐震・外壁改修
	よませ保育園	S52	43	902	2	○	H26 耐震・外壁改修
	すがかわ保育園	S61	34	744	1	—	
	かえで保育園	H19	13	2,300	1	—	
	旧泉保育園	S53	42	921	1	—	
	子育て支援センターゆめっこ	S60	35	797	1	—	
健康福祉施設	屋内ゲートボール場	H8	24	1,096	1	—	
	地域福祉センター	H4	28	2,787	2	—	
	保健センター	S55	40	1,050	1	○	
	旧北部診療所	S61	34	160	1	—	
	清掃事業所	S56	39	241	2	不明	
住宅施設	町営湯ノ原団地	S45	50	2,114	18	○ 一部不明	H25～R2 屋根・外壁等改修
	町営座王団地	S43	52	315	5	不明	
	町民住宅	S58	37	232	1	—	

※旧耐震耐震性：耐震設計基準が改正された昭和 56 年以前に旧耐震基準で整備された施設のうち、耐震診断、耐震改修等で耐震性が確認または確保された施設は○

施設概要

類型	施設名	代表建築年度	経過年数	総延床面積(m <sup>2</sup> )	棟数	旧耐震耐震性	主な改修
観光施設	志賀高原総合会館 98	H8	24	3,626	1	—	H29 屋根外壁等改修
	志賀高原総合案内所	S61	34	638	1	—	
	情報物産館	H9	23	495	3	—	R元 店舗屋根等改修
	やまびこ広場	S60	35	259	4	—	R2 ステージ棟屋根改修
	楓の湯	H14	18	393	2	—	
	信玄かま風呂資料展示場	S58	37	171	1	—	
	渋温泉駐車場	H6	26	90	2	—	
	横湯公衆便所	H6	26	15	1	—	
	平和観音公衆便所	H8	24	29	1	—	
	木戸池公衆便所	H7	25	43	1	—	
	清水公衆便所	H6	26	63	1	—	
	硯川公衆便所	H3	29	69	1	—	
	沓打公衆便所	H11	21	34	1	—	
	丸池公衆便所	H3	29	40	1	—	
長池公衆便所	H4	28	31	1	—		
農林施設	よませ活性化センター	H10	22	863	1	—	
	志賀高原地域交流センター	H13	19	226	1	—	
	生活改善センター	S48	47	275	1	—	
	種菌培養センター	S60	35	1,768	3	—	
	農産物加工センター	S60	35	63	1	—	
庁舎等施設	町役場庁舎	S55	40	4,926	2	○	H28, H29 耐震改修
	役場分室	H8	54	459	2	不明	
	大悲殿	S14	81	436	1	不明	
	旧和合保育園	S47	48	763	1	—	
	田舎暮らし体験住宅	S51	44	83	1	不明	
消防施設	山ノ内消防署	H25	7	1,237	1	—	
	金安コミュニティ消防センター	H12	20	214	1	—	
	渋温泉コミュニティ消防センター	H14	18	297	1	—	
	東部分団沓野部詰所	H5	27	58	1	—	
	東部分団湯田中部詰所	H25	7	45	1	—	
	東部分団上条部器具置場	H24	8	66	1	—	
	南部分団佐野コミュニティ消防センター	H9	23	82	1	—	
	南部分団寒沢部器具置場	S33	62	52	1	不明	
	南部分団菅部器具置場	S57	38	29	1	不明	
	南部分団戸狩部詰所	H6	26	66	1	—	
	南部分団佐野部器具置場	H3	29	82	1	—	
	南部分団穂波温泉部詰所	H6	26	48	1	—	
	西部分団横前コミュニティ消防センター	H10	22	67	1	—	
	西部分団宇木コミュニティ消防センター	H4	28	50	1	不明	
	西部分団コミュニティ消防センター	H11	21	88	1	—	
	北部分団表落合部詰所	H元	31	41	1	—	
	北部分団詰所	H7	25	75	1	—	
	北部分団乗廻コミュニティ消防センター	H9	23	58	1	—	
	有線本部庁舎跡資材庫	S59	36	106	1	—	

## 2 劣化状況

### (1) 現況劣化

主要な施設については目視による外観及び屋内調査（調査対象部位：屋根・屋上、外壁、開口部、内部、外構、給排水設備、電気防災設備）、小規模施設については目視による外観調査（調査対象部位：屋根・屋上、外壁、開口部）により、各部位ごとに a～d の 4 段階で評価した結果は、次のとおりです。

#### 主要な施設の評価方法

- ・調査結果を基に評価点を設定するとともに部位により建築物の安全性もしくは機能性に及ぼす影響度合いが異なることから、重要度係数を設定して現況劣化度を算出。

#### 評価点・部位別重要度係数

調査箇所（部位）	評価点				重要度係数	
	a	b	c	d	係数	判断基準
屋根・外壁	20	40	60	80	1.00	特に安全性に係る
開口部・内部	20	40	60	80	0.75	安全性に係る
電気・防災・給排水設備等	20	40	60	80	0.50	計画的保全
外構	20	40	60	80	0.25	適正な保全

- ・現況劣化度は、部位別の評価点と重要度係数を掛け合せて合計した後、部位数で割ることにより算出。

現況劣化度（加重平均値）	=	$\frac{\text{（各部位の評価点} \times \text{部位別重要度係数）の和}}{\text{部位数}}$
--------------	---	--

- ・現況の劣化状況を把握しやすくするため、現況劣化度を A～D に区分し、現況の劣化状況を整理。

#### 評価区分

評価区分	基準	現況劣化度
A	概ね良好	20 点未満
B	やや劣化している	20 点以上 27 点未満
C	劣化が進んでいる	27 点以上 34 点未満
D	著しく劣化している	34 点以上

### (2) 経年劣化

建物の築年数により、a～e に区分した経年劣化の状況は、次のとおりです。

#### 経年劣化評価区分

評価区分	築年数
a	10 年未満
b	10 年以上 20 年未満
c	20 年以上 30 年未満
d	30 年以上 40 年未満
e	40 年以上

劣化評価結果

( ) は現況劣化度

		現況劣化				
		A	B	C	D	
		概ね良好	やや劣化が進んでいる	劣化が進んでいる	著しく劣化している	
経年劣化	a	10年未満	山ノ内消防署(14) 東部分団湯田中部詰所 東部分団上条部器具置場			
	b	10～20年未満	情報物産館農産物直売所(18) 山ノ内中学校特別教室棟(14) かえで保育園(14) 情報物産館屋外テラス	楓の湯(21) 志賀高原地域交流センター(21) 地域福祉センター2(20)	渋温泉コミュニティ消防センター(28)	
	c	20～30年未満	志賀高原総合会館98(14) 情報物産館店舗(14) よませ活性化センター(14) 金安コミュニティ消防センター(14) ほなみふれあいセンター 陶芸小屋 渋温泉駐車場管理棟・案内所 渋温泉駐車場公衆便所 横湯公衆便所 木戸池公衆便所 沓打公衆便所 北部分団詰所 北部分団乗廻コミュニティ消防センター	屋内ゲートボール場(21) 蟻川図書館(20) ほなみふれあいセンター(20) よませふれあいセンター(20) よませふれあいセンター陶芸小屋 南小学校プール更衣室 南小学校プール機械室 平和観音公衆便所 丸池公衆便所 清水公衆便所 種菌培養センター3 南部分団佐野コミュニティ消防センター 南部分団戸狩部詰所 南部分団穂波温泉部詰所 西部分団宇木コミュニティ消防センター 西部分団横前コミュニティ消防センター 西部分団コミュニティ消防センター	地域福祉センター1(29) 志賀高原ロマン美術館(27) 硯川公衆便所 長池公衆便所 東部分団沓野部詰所 南部分団佐野部器具置場	
	d	30～40年未満	清掃事業所車庫 山ノ内中学校更衣室	南小学校屋内体育館(21) 学校給食センター(21) 旧北部診療所(21) 西館ゴールハウス(20) 中学教員住宅中学 東小学校更衣室 東小学校機械室 西小学校更衣室 西小学校機械室 西小学校便所・機械室 西小学校プール倉庫 有線本部庁舎跡資材庫	山ノ内中学校格技室棟(29) 東小学校北棟(28) 東小学校大体育館(28) 西小学校屋内体育館(28) 南小学校教室棟(27) 西小学校管理教室棟(27) すがかわ保育園(27) やまびこ広場管理事務所(27) やまびこ広場ステージ棟 やまびこ広場倉庫 町民住宅 南部分団菅部器具置場 北部分団表落合部詰所	東小学校南棟(35) 東小学校中棟(35) 子育て支援センターゆめっこ(34) 志賀高原総合案内所(34) 西小学校特別教室棟(34) 文化センター(34) 西小学校低学年教室棟(34) 清掃事業所管理事務所(34) 東小教員住宅東小 やまびこ広場便所 信玄かま風呂資料展示場 種菌培養センター1 農産物加工センター
	e	40年以上	山ノ内中学校教室棟(14) 山ノ内中学校管理棟(14) 山ノ内中学校体育館・渡廊下(14) 山ノ内中学校機械室(14) 町役場庁舎倉庫 よませ保育園機械室 町営湯ノ原団地45-1～4 町営湯ノ原団地45-5～8 町営湯ノ原団地45-9～12 町営湯ノ原団地46-1～4 町営湯ノ原団地46-5～6 町営湯ノ原団地46-7～8 町営湯ノ原団地47-1～4 町営湯ノ原団地47-5～8 町営湯ノ原団地48-1～4	保健センター(21) 町役場庁舎(21) 志賀高原保育園(20) すがかわ体育館(20) ほなみ保育園(20) よませ保育園棟(20) 北部公民館 山ノ内中学校便所 町営湯ノ原団地集会所 田舎暮らし体験住宅	すがかわ体育館地下通路(30) 西小教員住宅 山ノ内中学校器具庫 町営湯ノ原団地52-1～2 町営湯ノ原団地52-3～4 町営座王団地43-1～2 町営座王団地43-5～6 町営座王団地44-3～4 役場分室	(仮称)すがかわふれあいセンター(35) 大悲殿(34) 楓の館(34) 社会体育館 東小教員住宅東小校長 南小教員住宅南小2 南小教員住宅南小3 中学教員住宅東部2 旧和合保育園 生活改善センター 種菌培養センター2 町営湯ノ原団地50-1～3 町営湯ノ原団地51-1～3 町営湯ノ原団地44-1～2 町営湯ノ原団地44-3～4 町営湯ノ原団地48-5～9 町営湯ノ原団地49-1～4 町営座王団地43-3～4 町営座王団地44-1～2 役場分室車庫 旧泉保育園 南部分団寒沢部器具置場

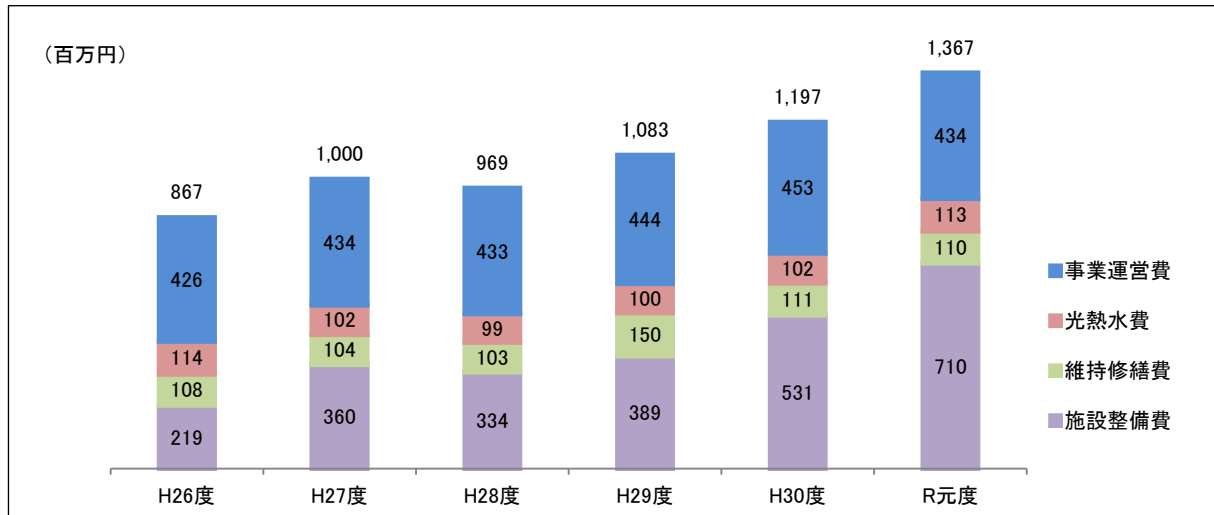
### 3 施設関連経費

#### (1) 施設関連経費

直近6年間における施設関連経費は、8億6,700万円～13億6,700万円で推移していますが、防災無線デジタル化・中学校長寿命化等の大型工事等の影響で、経費の増加傾向が顕著であり、令和元年には最も多い13億6,700万円となっています。

内訳をみると、施設整備費が令和元年で全体の52%（7億1,000万円）を占めており、平成26年の2億1,900万円と比較すると4億9,100万円増加しており、施設の老朽化に伴う経費の増大が懸念されます。

施設関連経費の推移

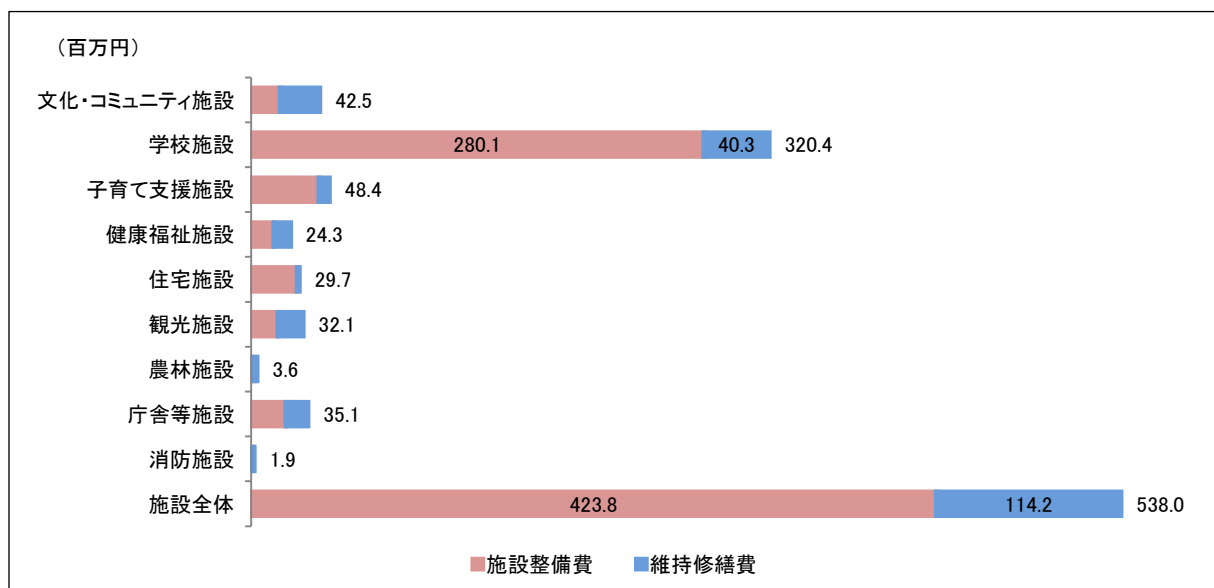


#### (2) 類型別施設整備・維持修繕費

施設全体の直近6年間年平均施設整備・維持修繕費は5億3,800万円で、施設整備費が4億2,380万円、維持修繕費が1億1,420万円となっています。

類型別にみると、学校施設が最も多い3億2,040万円、次いで子育て支援施設が4,840万円、文化・コミュニティ施設が4,250万円となっています。

類型別施設整備・維持修繕費（年平均）



※施設整備費：建物の改修・建替・新築にかかった費用

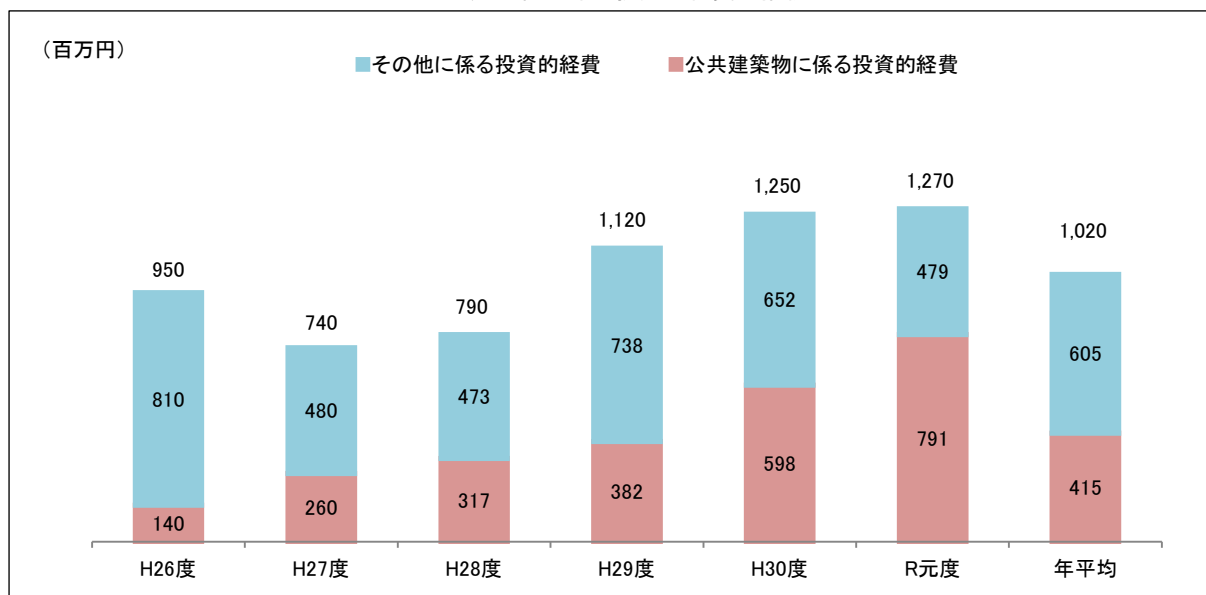
### (3) 公共建築物に係る投資的経費

直近6年間における総投資的経費をみると、7億4,000万円～12億7,000万円で推移し、年平均は10億2,000万円です。近年、経費の増加傾向が顕著であり、令和元年度には最も多い12億7,000万円となっています。

公共建築物に係る投資的経費をみると、年平均は4億1,500万円で、令和元年度では全体の62.2%（7億9,100万円）を占めています。

平成26年度の1億4,000万円と比較すると6億5,100万円増加しており、施設の老朽化に伴う経費の増大が懸念されます。

公共建築物に係る投資的経費の推移



## 第2節 運営・利用状況

### 1 運営状況

運営形態として直営、委託、指定管理、貸付がありますが、直営は61施設、委託は4施設、指定管理は6施設（一部委託含む）、貸付は7施設となっています。

#### 運営形態

類型	施設名	所在地	所管部署	運営形態	委託・指定管理・貸付者
文化・コミュニティ施設	文化センター	平穩 4015-1	教育委員会	直営	—
	蟻川図書館	平穩 4009-1		直営	—
	ほなみふれあいセンター	佐野 795-1		直営	—
	よませふれあいセンター	夜間瀬 2511-1		直営	—
	（仮称）すがかわふれあいセンター	夜間瀬 8611-2		直営	—
	北部公民館	夜間瀬 8589		直営	—
	志賀高原口マン美術館	平穩 1465		直営	—
	社会体育館	平穩 2763-1		直営	—
	すがかわ体育館	夜間瀬 8611-2		直営	—
	西館ゴールハウス	平穩 7148		貸付	山ノ内町競技スキー施設管理委員会
学校施設	東小教員住宅	平穩 3121-2 他	教育委員会	直営	—
	南小教員住宅	佐野 685-1		直営	—
	西小教員住宅	夜間瀬 2504-1		直営	—
	中学教員住宅	平穩 3352-4 他		直営	—
	東小学校	平穩 3100		直営	—
	南小学校	佐野 1181-1		直営	—
	西小学校	夜間瀬 2504-1		直営	—
	山ノ内中学校	平穩 3400-1		直営	—
	学校給食センター	平穩 3392		直営	—
子育て支援施設	志賀高原保育園	平穩 7148	健康福祉課	直営	—
	ほなみ保育園	佐野 1058-1		直営	—
	よませ保育園	夜間瀬 2970-1		直営	—
	すがかわ保育園	夜間瀬 8597-3		直営	—
	かえで保育園	平穩 3094-1		直営	—
	旧泉保育園	佐野 2623-3		直営	—
	子育て支援センターゆめっこ	平穩 2858-5		直営	—
健康福祉施設	屋内ゲートボール場	平穩 1088-1	健康福祉課	委託	中野広域シルバー人材センター
	地域福祉センター	平穩 3371-2		直営	—
	保健センター	平穩 3352-1		直営	—
	旧北部診療所	夜間瀬 8566-3		直営	—
	清掃事業所	戸狩 1205-4		直営	—
住宅施設	町営湯ノ原団地	平穩 19-1 他	建設水道課	直営	—
	町営座王団地	平穩 3469-1 他		直営	—
	町民住宅	夜間瀬 8568-1		直営	—



運営形態

類型	施設名	所在地	所管部署	運営形態	委託・指定管理・貸付者
観光施設	志賀高原総合会館 98	平穩 7148-203	観光商工課	指定	(一財)和合会
	志賀高原総合案内所	平穩 7148		委託	志賀高原スキークラブ
	情報物産館	佐野 393-2		指定	(一財)山ノ内町総合開発公社
	やまびこ広場	平穩 1065-1		委託	中野広域シルバー人材センター
	楓の湯	平穩 3227-6		指定	(一財)山ノ内町総合開発公社
	信玄かま風呂資料展示場	平穩 2034-2		貸付	信玄かま風呂運営委員会
	渋温泉駐車場	平穩 1140-44		貸付	町営渋温泉駐車場管理委員会
	横湯公衆便所	平穩 2031-3		直営	—
	平和観音公衆便所	平穩 2763-3		直営	—
	木戸池公衆便所	平穩 7148		直営	—
	清水公衆便所	平穩 7148		直営	—
	硯川公衆便所	平穩 7148		直営	—
	沓打公衆便所	平穩 6980-□		直営	—
	丸池公衆便所	平穩 7148		直営	—
	長池公衆便所	平穩 7148		直営	—
農林施設	よませ活性化センター	夜間瀬 6819-1	農林課	直営	—
	志賀高原地域交流センター	平穩 7149-16		指定	北信州森林組合
	生活改善センター	平穩 8129-1		貸付	山郷ファーム、児童クラブ
	種菌培養センター	夜間瀬 5461		貸付	JA ながの
	農産物加工センター	平穩 4871-5		貸付	猟友会
庁舎等施設	町役場庁舎	平穩 3352-1	総務課	直営	—
	役場分室	平穩 2987-1		直営	—
	大悲殿	平穩 2763-3		委託	(一財)山ノ内町総合開発公社
	旧和合保育園	平穩 972-2		直営	—
	田舎暮らし体験住宅	夜間瀬 8932-2		直営	—
消防施設	山ノ内消防署	平穩 4106-11	消防課	貸付	岳南広域消防組合
	金安コミュニティ消防センター	平穩 2281-2		指定	金安三組
	渋温泉コミュニティ消防センター	平穩 2112-1		指定	渋湯組
	東部分団沓野部詰所	平穩 1234-3		直営	—
	東部分団湯田中部詰所	平穩 3091-5		直営	—
	東部分団上条部器具置場	平穩 4865-3		直営	—
	南部分団佐野コミュニティ消防センター	佐野 1086-1		直営	—
	南部分団寒沢部器具置場	寒沢 754-1		直営	—
	南部分団菅部器具置場	寒沢 1168-1		直営	—
	南部分団戸狩部詰所	戸狩 339-1		直営	—
	南部分団佐野部器具置場	佐野 1448-2		直営	—
	南部分団穂波温泉部詰所	佐野 2592-138		直営	—
	西部分団横前コミュニティ消防センター	夜間瀬 3322-1		直営	—
	西部分団宇木コミュニティ消防センター	夜間瀬 1286-2		直営	—
	西部分団コミュニティ消防センター	夜間瀬 2665-7		直営	—
	北部分団表落合部詰所	夜間瀬 10059-10		直営	—
	北部分団詰所	夜間瀬 8568-6		直営	—
	北部分団乗廻コミュニティ消防センター	夜間瀬 11973-2		直営	—
	有線本部庁舎跡資材庫	平穩 4106-56		直営	—

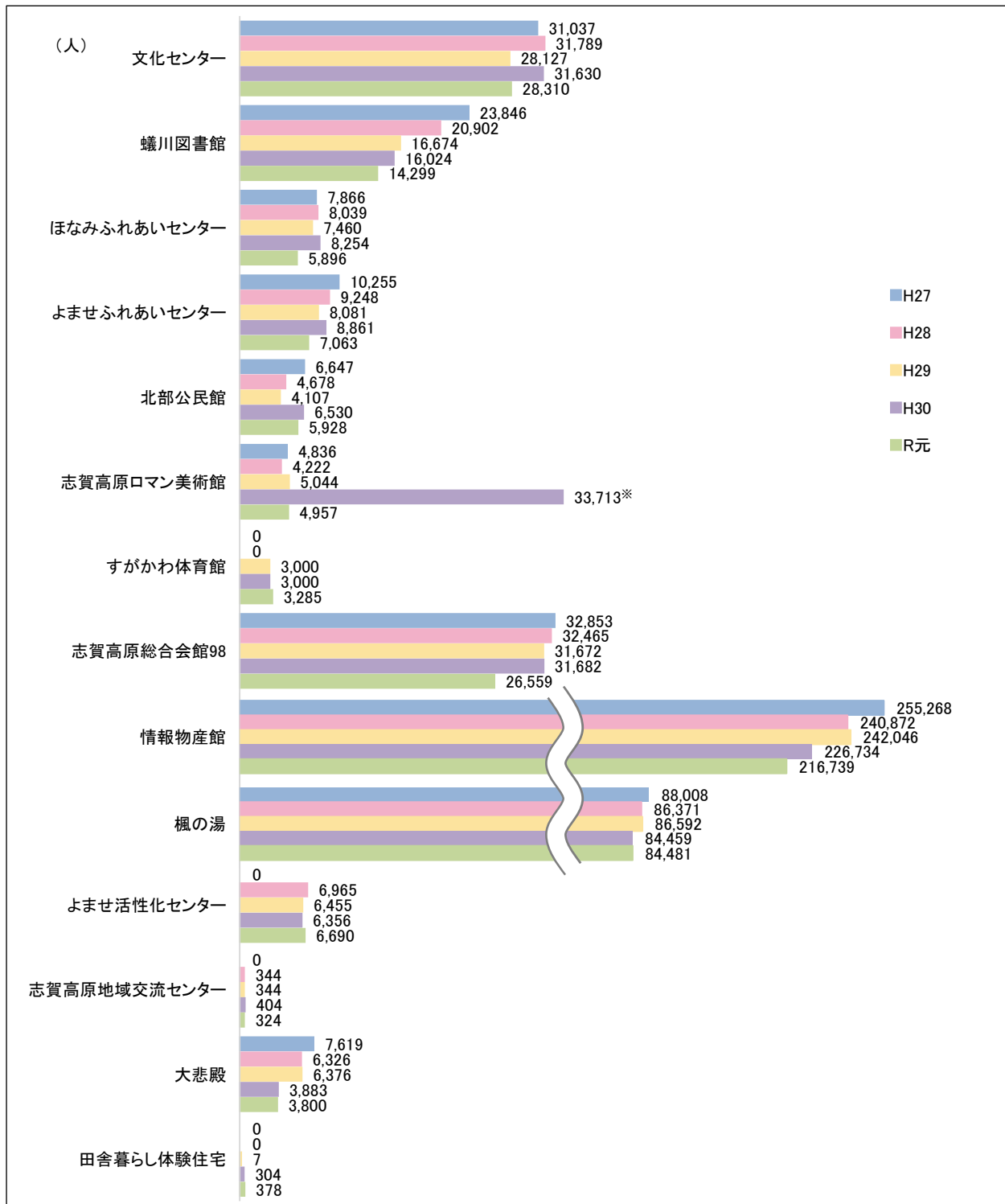
## 2 利用状況

### (1) 年間利用者数

文化・コミュニティ施設では、文化センターが3万人前後、蟻川図書館が、1万4千人から2万4千人ですが、志賀高原ロマン美術館は5千人前後と少ない状況であり、文化センター、志賀高原ロマン美術館は横ばい、蟻川図書館は減少傾向にあります。

観光・農林等施設では、情報物産館が21万6千人から25万5千人で最も多く、楓の湯が8万6千人前後、志賀高原総合会館98が2万6千人から3万3千人となっていますが、いずれの施設も減少傾向にあります。

年間利用者数の推移



※志賀高原ロマン美術館はH30に入館料無料による実証実験を実施

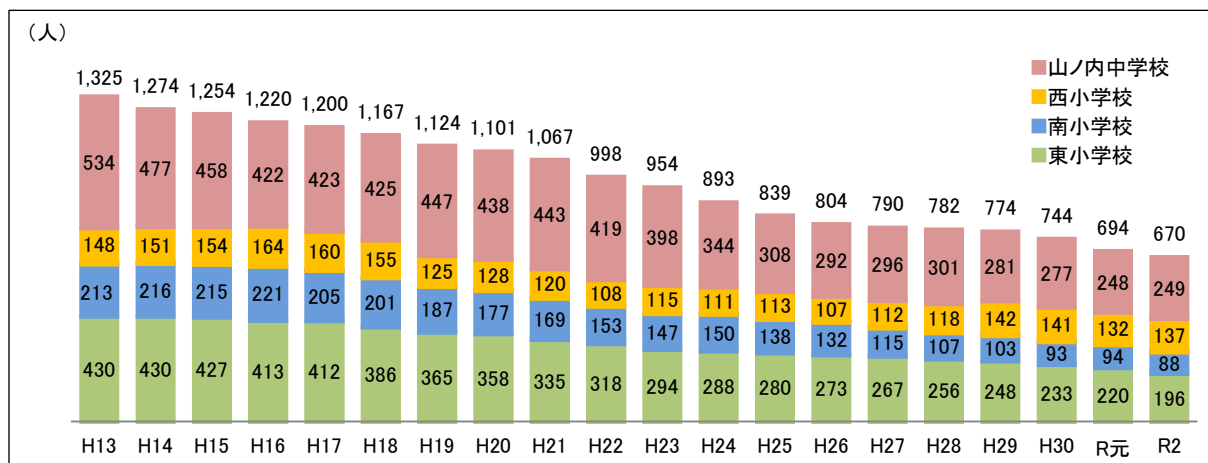
## (2) 学校施設

児童・生徒数は、平成13年以降減少傾向であり、令和2年までに児童数は370人、生徒数は285人減少しています。児童数を学校別にみると、平成13年には西小学校を上回っていた南小学校の減少が著しく、令和2年では88人と最も少ない状況になっています。

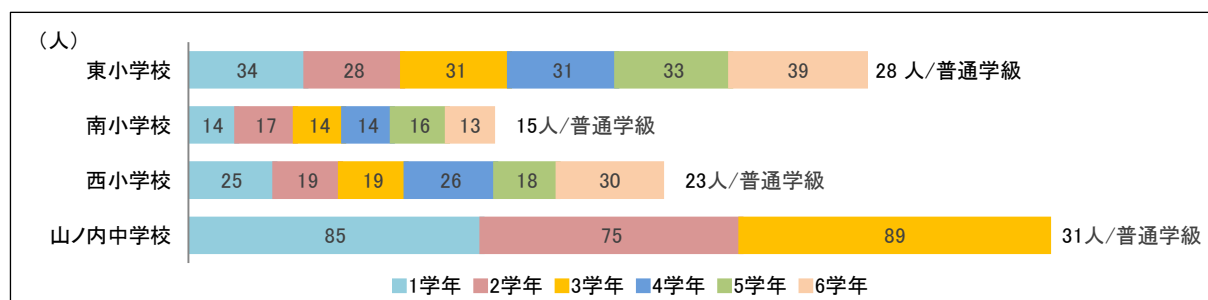
特別支援学級を除く普通学級（1～6学年）の平均児童数は、東小学校が28人、南小学校が15人、西小学校が23人、山ノ内中学校が31人です。

児童数の減少により学級数は、小学校では東小学校6学年を除き、各学校各学年1学級となっており、その影響で教室数は特別教室数が多い状況です。

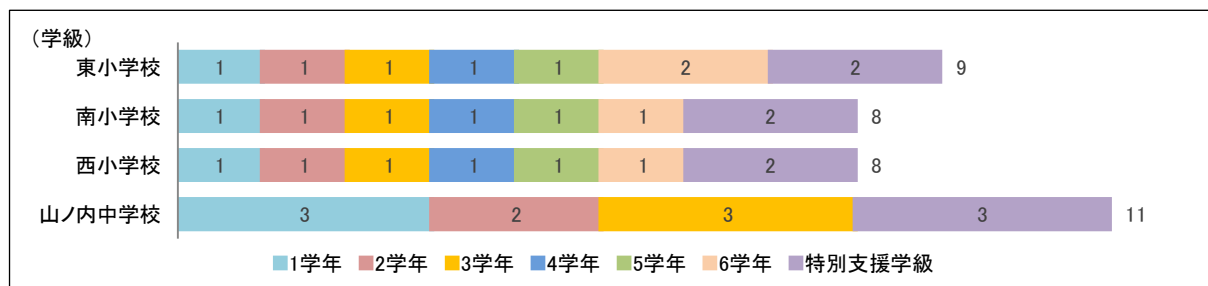
児童・生徒数の推移



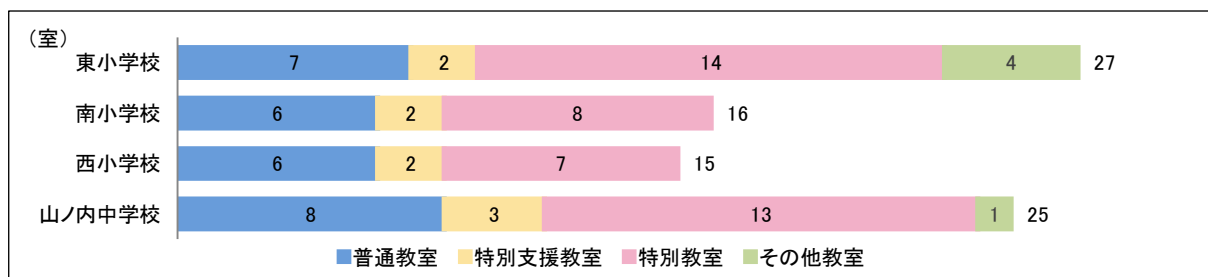
学年別児童生徒数・学級当たり児童生徒数



学級数



教室数



令和2年5月1日現在

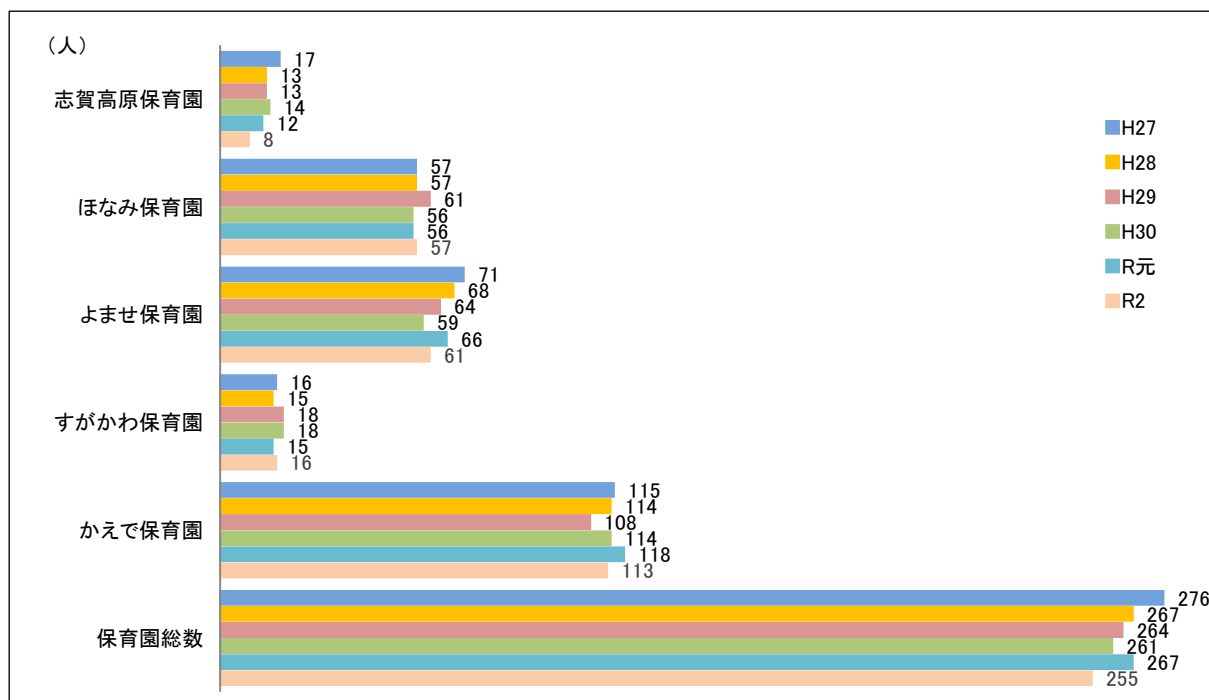
### (3) 子育て支援施設

園児数は、年々減少しており、平成 27 年度から令和 2 年度までの 6 年間で 21 人減少しています。

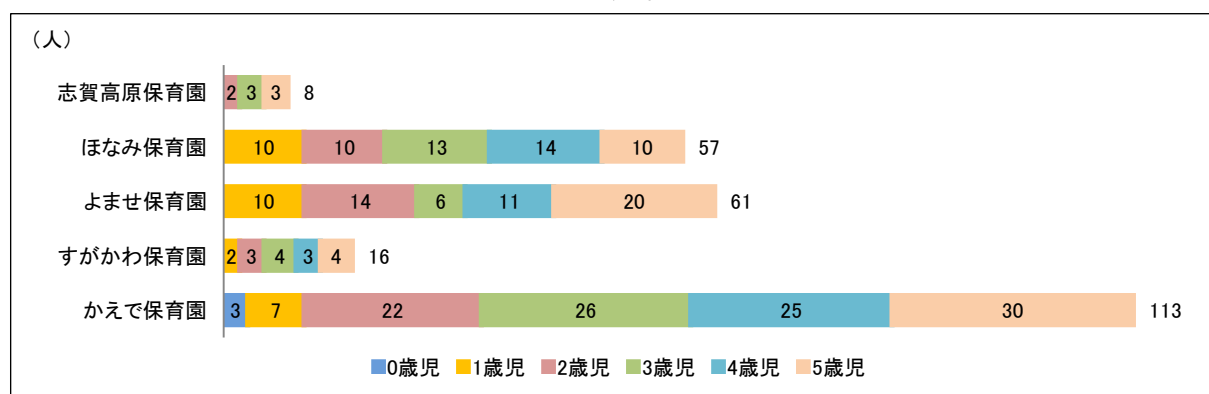
施設別にみると、よませ保育園、志賀高原保育園が減少傾向、その他は横ばい傾向であり、令和 2 年ではかえで保育園が 113 人と最も多く、次いでよませ保育園が 61 人、ほなみ保育園が 57 人の順となっています。

子育て支援センターゆめっこの利用者数は、2,411 人から 2,637 人で推移しています。

園児数の推移



年齢別園児数(令和 2 年)



子育て支援センターゆめっこ利用者数の推移



各年 5 月 1 日現在

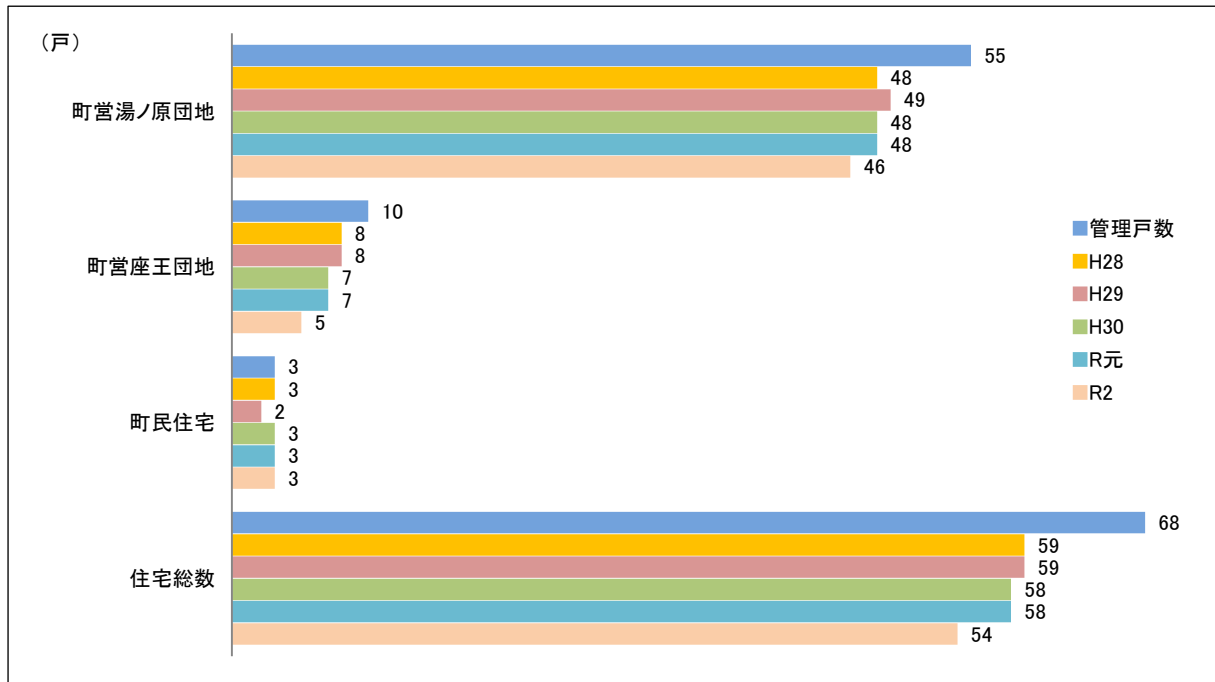
#### (4) 住宅施設

近年の住宅入居戸数は年々減少しており、平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間で 5 戸減少しています。

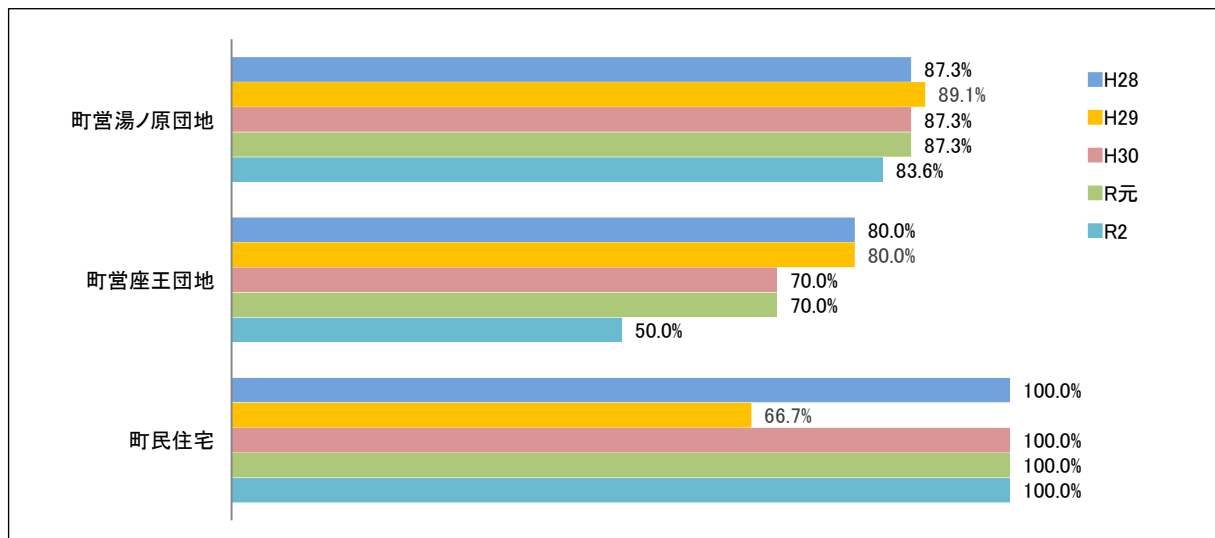
施設別にみると、町営座王団地が減少傾向、町営湯ノ原団地、町民住宅は横ばい傾向であり、令和 2 年では、町営湯ノ原団地が 46 戸と最も多くなっています。

入居率をみると、5 年間で町営湯ノ原団地が 83.6%から 89.1%で推移し、町民住宅は近年 100%となっています。

入居戸数の推移



入居率の推移



各年 5 月 1 日現在

### 第3節 公共施設の課題

#### ■ 人口減少への対応

- ・総人口は平成7年以降減少傾向にあり、平成27年から令和27年の30年間で3,794人減少（平成27年と比較して30.5%に減少）することが見込まれています。
- ・人口の減少による施設利用の低下を踏まえ、人口減少に対応した施設配置のあり方を検討する必要があります。
- ・将来的には、全域にわたって分散して配置している施設を人口分布に応じて再編することや集約による利用の最適化を図ることが重要です。

#### ■ 少子化への対応

- ・年少人口は平成27年から令和27年の30年間で133人減少（平成27年と比較して11.0%に減少）することが見込まれており、人口の減少による施設需要の変化に対応した施設配置のあり方を検討する必要があります。
- ・学校施設では、児童・生徒数の減少によりゆとりのできた教室の他用途を含めた活用や子育て施設としての複合化等が必要です。

#### ■ 老朽化と安全性・耐久性向上への対応

- ・耐震性が不明の施設が15施設、築30年以上経過している施設が公共施設全体の74.7%（延床面積）に達しており、特に、スポーツ施設、学校施設等、庁舎等の割合が高く老朽化が進んでいます。
- ・一般に、鉄筋コンクリート造の建物の場合、築30年程度で大規模改修が、築60年程度で更新（建替）が必要になるといわれていることから、今後、大規模改修や耐震化により、安全確保や耐久性向上を図っていく必要があります。

#### ■ 施設立地の最適化

- ・現状の施設は、市街地が形成されてきた長野電鉄沿線と湯田中や渋をはじめとする温泉街及び志賀高原を中心に立地しています。
- ・今後は、人口分布や観光需要の変化により施設の利用状況も変化していくことが予想されることから、施設立地の集積を図りつつ、立地の最適化を進める必要があります。

## ■ 施設サービスの適正化・効率化

- ・利用しやすい施設に対する住民ニーズを踏まえ、更新時における施設の集約化を行い、施設サービスの適正化を図る必要があります。
- ・運営時間の延長や提供事業内容の改善・拡充など、民間ノウハウの活用等を含めた事業運営の効率化とサービス水準の向上に向けた取組みを図っていくことも重要です。

## ■ 計画的・戦略的な施設の運営

- ・直営、委託、指定管理、貸付の現在の運営形態の見直しを行い、役割を終えた施設の廃止と効率的な運営を図ることが必要です。
- ・更に、施設の譲渡による民営化を含め、利用需要に対する運営の多様化を図りつつ、今後の施設の改修・更新時期を見通して中長期的な視点による計画的・戦略的なマネジメントに取り組む必要があります。

## ■ 効果的で効率的な施設の管理

- ・改修・更新のやり方を従来どおり続けていくだけでは、改修・更新にかかる経費は莫大になり、財政状況や行政サービスに重大な影響を及ぼすことが懸念されます。
- ・現在の投資額以上のコストを要することが予想される中、総合的な視点で優先順位を付け、「選択と集中」により限られた資源を効果的に活用することが必要です。
- ・更に、各施設の使用年数を設定し、経過時（更新時）における対応（建替、複合・集約化、廃止・除却等）を明確にすることも必要です。

## ■ 全庁的なデータ管理体制の構築と官民協働・連携

- ・減価償却費や人件費等を含めた施設の維持管理に関するコストに加え、利用・効果に関する状況等のデータについても、的確に把握・分析する必要があり、施設のデータベース化を含めたデータの一元管理や部局横断的な体制整備などを含めて全庁的なデータの整理・収集、管理体制を整備することが必要です。
- ・マネジメントを行う上では、施設の実態に関する問題意識や情報を町民と共有しながら推進することが重要ですが、そのためには施設にかかるコストや利用の実態に関するデータの分析評価の結果を分かりやすく開示し、町民との協働や民間事業者等との連携により施設の改善策やあり方を検討していくことが求められています。





## 公共施設整備の基本方針

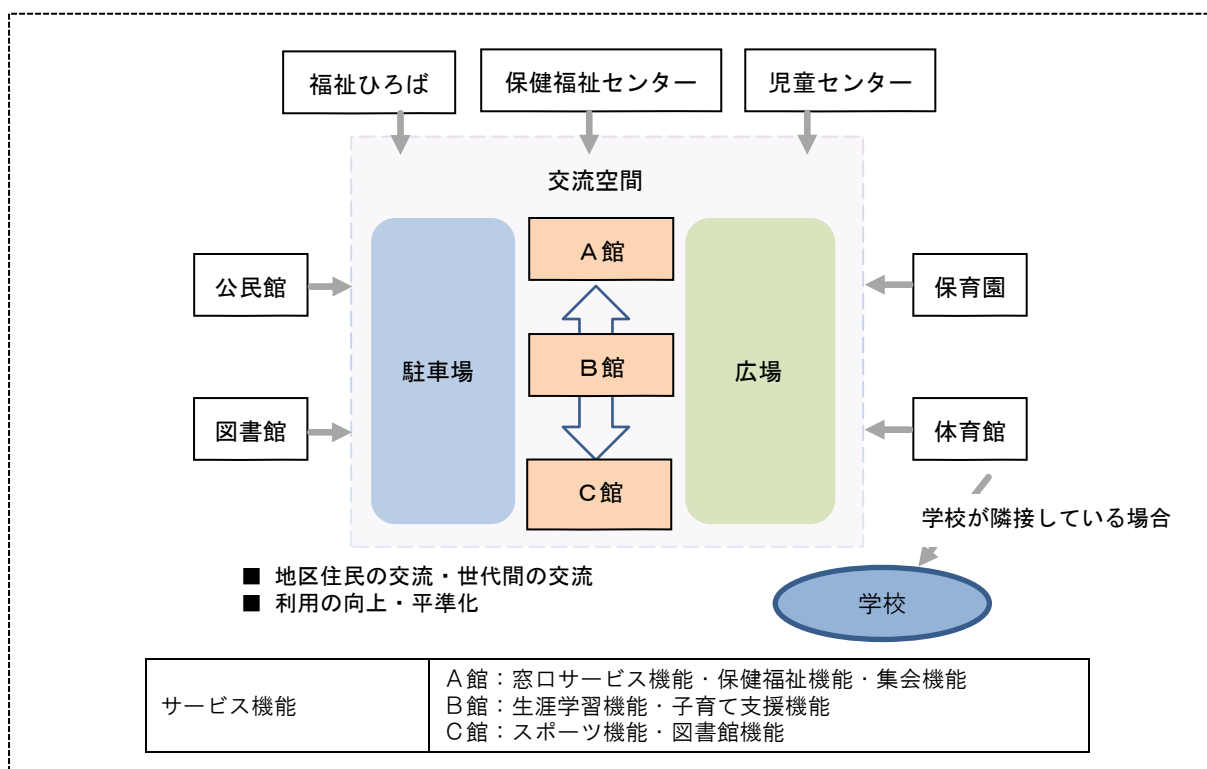
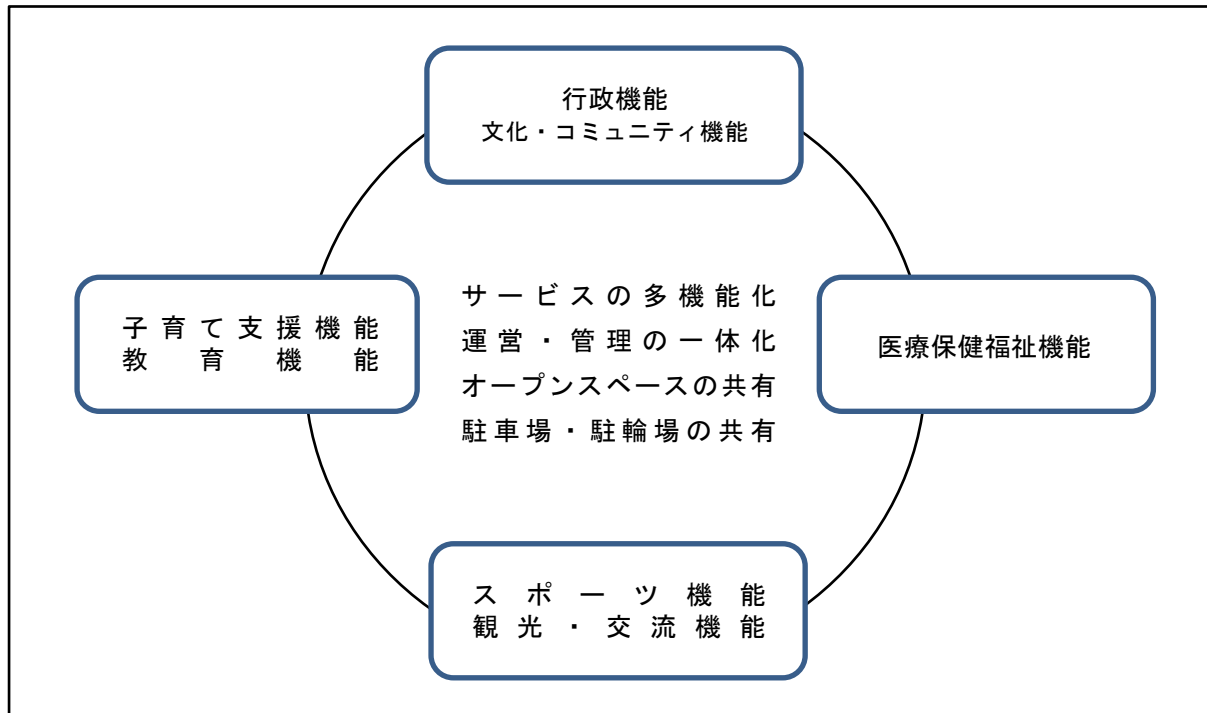
---

# 第3章

1 理念

本計画では、住民が利用しやすく、また、利用したくなる施設の最適な配置を図っていくため、分散しているサービス機能を同じ建物内に複合化（複合施設）することや、同じ敷地・隣接地に集約化（併設）することにより、サービスが多機能化しつつも運営・管理が一体化され、施設全体が共有するオープンスペースや駐車場等のある交流空間の創出を公共施設整備の理念として設定します。

交流空間のイメージ



## 2 基本原則

公共施設の課題、「総合管理計画」の基本方針、計画の理念を踏まえ、公共施設整備における基本原則を、以下に掲げます。

公共施設の課題	総合管理計画の基本方針
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 人口減少への対応</li><li>■ 少子化への対応</li><li>■ 老朽化と安全性・耐久性向上への対応</li><li>■ 施設立地の最適化</li><li>■ 施設サービスの適正化・効率化</li><li>■ 計画的・戦略的な施設の運営</li><li>■ 効果的で効率的な施設の管理</li><li>■ 全庁的なデータ管理体制の構築と官民協働・連携</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 点検・診断等の実施</li><li>■ 維持管理・修繕・更新等の実施</li><li>■ 安全確保の実施</li><li>■ 耐震化の実施</li><li>■ 長寿命化の実施</li><li>■ 統合や廃止の推進</li><li>■ 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築</li></ul>



### 公共施設整備の基本原則

#### 【原則 1】施設保有量の最適化

従来の枠にとらわれない、類似施設や周辺施設の複合・集約化や大規模改修・更新（建替）時の用途見直しによる複合・集約化を進め、施設保有量の概ね 15% を縮減して保有量の最適化を図る。

#### 【原則 2】人口分布と利用状況に応じた施設配置の最適化

近隣施設の複合・集約化や合併地域における生活拠点への複合・集約化を図り、人口分布と利用状況に応じた利用圏域を踏まえつつ、住民一人当たり面積の適正化と施設配置の最適化を図る。

#### 【原則 3】民営化を基本とした施設の運営管理の見直し

民間にできることは民間に委ねることを基本とし、現在の運営形態（直営、委託、指定管理、貸付等）の見直しを行い、民間のノウハウを活用した行政サービスの向上を図る。

また、施設更新（建替）に当たっては、PFI<sup>※</sup>の活用を検討する。

#### 【原則 4】適正な更新と改修による施設の長寿命化

サービス提供の必要性や施設の老朽化状況を踏まえ、各施設の使用年数に応じた適正な維持管理、更新（建替、集約、解体等）を行うとともに、改修による施設の長寿命化を図る。

※PFI：「プライベート・ファイナンス・イニシアティブ」の略称。公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効果的かつ効率的な公共サービスの提供を図る事業手法

## 第2節 基本方針

### 1 運営・管理の方針

#### (1) 委託

直営施設は、施設の運営、建物の維持管理に係る業務の一部について、委託による運営・管理を進め、施設サービスの充実や経費削減を図ります。

#### (2) 指定管理

直営施設や委託により運営・管理する施設は、指定管理者制度を導入し、施設サービスの効率化や経費削減を図ります。

#### (3) 貸付

委託や指定管理者制度により運営・管理する施設で、同じ用途の民営施設が立地する施設は、貸付けによる運営・管理を進め、施設サービスの民営化による経費削減を図ります。

#### (4) 譲渡・廃止

指定管理者制度や貸付により運営・管理し、同じ用途の民営施設が立地する施設は、適正な施設サービスの維持を前提とした施設譲渡による民営化を進めます。譲渡ができない場合は用途を廃止し、解体とします。

### 2 適正配置の方針

#### (1) 類似施設の集約

利用目的が同じような施設は、各施設の利用状況や立地状況を踏まえ、大規模改修・更新時に集約化を進め、施設数、保有量を適正化します。

#### (2) 近隣施設の複合・集約化

立地が近接する施設は、施設の老朽化や利便性を考慮しつつ複合・集約化を進め、施設数、保有量を適正化します。

#### (3) 拠点への複合・集約化

周辺に分散している施設は、施設が集積している中心エリアへ立地誘導を図りつつ、中心エリアに立地する施設との複合・集約化を進め、施設数、保有量を適正化します。

### 3 更新の方針

#### (1) 目標使用年数

建築物は多くの部位・設備機器によって構成され、その耐用年数はそれぞれ異なりますが、年数が最長である構造躯体の耐用年数が建築物の目標使用年数となります。

目標使用年数は「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考とし、構造別規模別に次のように設定します。

目標使用年数

構造種別	規模	使用年数	設定根拠
SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） RC（鉄筋コンクリート造）	概ね 1,000 ㎡以上	80 年	普通品質の上限値を採用
	概ね 1,000 ㎡未満	60 年	普通品質の代表値を採用
	100 ㎡未満	50 年	普通品質の下限値を採用
S（重量鉄骨造）	概ね 1,000 ㎡以上	80 年	普通品質の上限値を採用
	概ね 1,000 ㎡未満	60 年	普通品質の代表値を採用
	100 ㎡未満	50 年	普通品質の下限値を採用
LS（軽量鉄骨造）、P（プレハブ造）	—	50 年	軽量鉄骨の上限値を採用
CB（コンクリートブロック造）	100 ㎡以上	60 年	代表値を採用
	100 ㎡未満	50 年	下限値を採用
W（木造）	概ね 1,000 ㎡以上	80 年	学校・官庁の上限値を採用
	概ね 1,000 ㎡未満	60 年	学校・官庁の代表値を採用
	100 ㎡未満	50 年	住宅・事務所・病院の上限値を採用



建築物全体の望ましい目標耐用年数の級（日本建築学会）

	級	SRC RC		鉄骨造			ブロック造	木造
		高品質 の場合	普通品質 の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
				高品質 の場合	普通品質の 場合			
学校 官庁	級	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y60 以上
	代表値	100 年	60 年	100 年	60 年	40 年	60 年	60 年
	範囲	80～120 年	50～80 年	80～120 年	50～80 年	30～50 年	50～80 年	50～80 年
住宅 事務所 病院	級	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上
	代表値	100 年	60 年	100 年	60 年	40 年	60 年	40 年
	範囲	80～120 年	50～80 年	80～120 年	50～80 年	30～50 年	50～80 年	30～50 年

※Y：耐用年数

#### (2) 更新の方針

目標使用年数に達した施設の更新については、適正配置の方針及び各施設の立地特性や規模等を考慮しつつ、以下のとおりとします。

更新時の方針

施設	方針
代表する施設	類似施設や周辺施設の機能の集約化を図りつつ、適正規模の建替えを行う。
延床面積や敷地規模の大きい施設	周辺施設の機能の集約化を図りつつ、人口動向・利用状況に配慮して適正規模の建替えを行う。
地区単位に設置されている施設	類似施設の機能の集約化を図りつつ、人口動向・利用状況に配慮して適正施設数、適正規模の建替えを行う。

## 4 点検・修繕の方針

### (1) 定期点検及び日常点検の実施

施設の状態を適切に把握するため、各種法定点検及び法定点検に準じた点検（法定対象外）を定期的を実施し、建物の老朽化や住棟毎に異なる劣化による事故等を未然に防ぐとともに、修繕や改善の効率的な実施につなげます。

また、「建築物点検マニュアル（国土交通省）」等を参考にして、外観目視による日常点検を適宜実施します。

### (2) 点検結果等に基づく修繕の実施

耐用年数まで活用可能な状態を維持していくために、定期点検、修繕周期、過去の修繕・改修履歴に基づいて計画的に修繕を実施していきます。

### (3) 点検結果や実施した修繕・改修内容のデータ管理

管理している施設の整備・管理に関するデータを個別施設単位に整理するものとし、施設状況、建物状況等のデータベース化を行います。

また、修繕・改修履歴データも併せて記載し、履歴を確認できるようにします。

日常点検項目

部位		点検項目	
建築物外部	基礎	基礎の沈下等の状況	
		基礎の劣化及び損傷の状況	
	土台	土台の沈下等の状況	
		土台の劣化及び損傷の状況	
	屋根	屋根の劣化及び損傷の状況	
		雨樋の劣化及び損傷の状況	
	外壁	躯体等	木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況
		外装仕上げ材等	金属系パネルの劣化及び損傷の状況
			窯業系サイディングの劣化及び損傷の状況
			シーリングの劣化及び損傷の状況
窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷の状況		
建具	玄関ドアの劣化及び損傷の状況		
敷地及び地盤	地盤	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況	
	敷地	敷地内の排水の状況	
	敷地内の通路	敷地内の通路の支障物の状況	
	塀	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況	
		金属フェンス等の劣化及び損傷の状況	
	擁壁	擁壁の劣化及び損傷の状況	
		擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況	
	屋外工作物	遊具、ベンチ等の劣化及び損傷の状況	
	屋外電気設備	外灯の不具合、劣化及び損傷の状況	
	通路・車路	平面駐車場の劣化及び損傷の状況	
車路・歩道、スロープ、屋外階段の劣化及び損傷の状況			
付属施設	自転車置場、ゴミ集積所等の劣化及び損傷の状況		

## 5 改修の方針

### (1) 長寿命化を図るべき施設

長寿命化を図るべき施設は、目標使用年数が60年及び80年の施設とし、大規模改修、計画改修により長寿命化を図ります。

### (2) 大規模改修

施設の機能や利用状況などの特性に応じて、適切な周期で改修を行って施設機能の維持及び整備水準の向上を図り、目標使用年数80年到達まで長寿命化を図ることとします。

大規模改修は、築40年（目標使用年数の中間年）を目途に実施するものとし、機能維持・回復のための工事に加え、省エネ性能や行政サービスの向上などの社会的欲求の高まりへ対応するため、内装改修や設備改修による機能向上も含めた改修を実施します。

ただし、目標使用年数到達までの残存年数が少ない施設は、大規模改修を実施せず、劣化状況を踏まえ、計画改修を実施します。

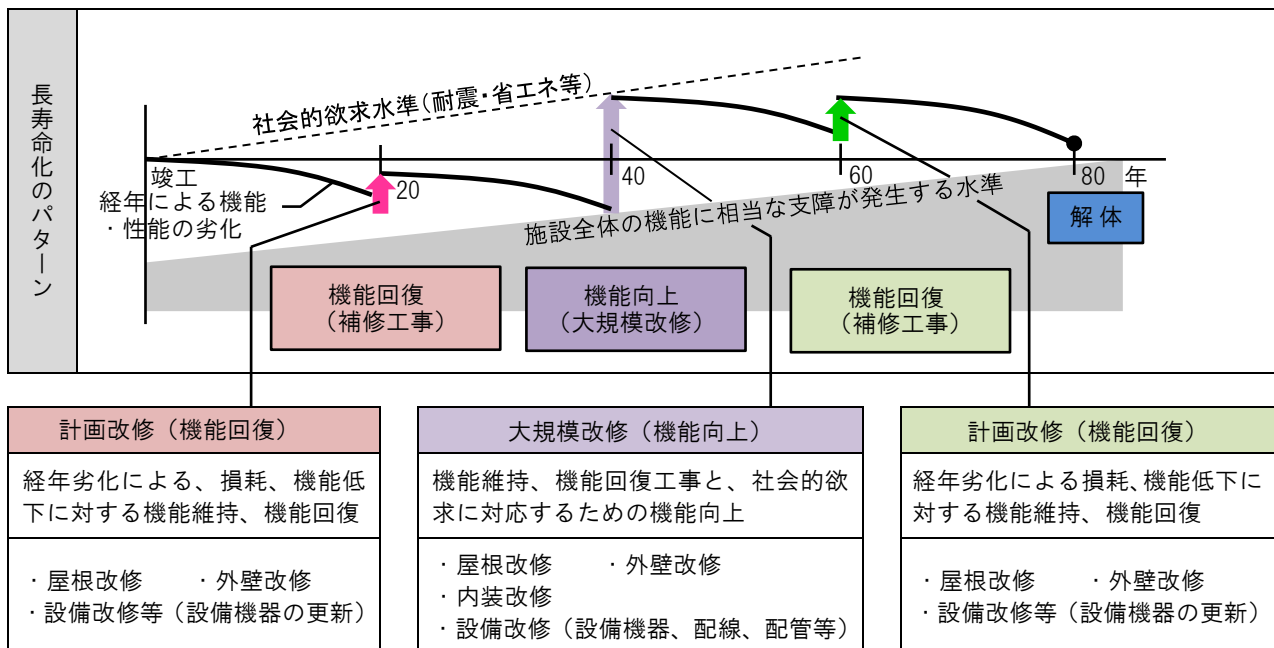
また、目標使用年数が80年であっても内装改修や設備改修等による機能向上が必ずしも必要ない施設（体育館や住宅）については、大規模改修ではなく計画改修を実施するものとします。

### (3) 計画改修

目標使用年数を80年と設定した施設は、経年劣化による消耗や機能低下に対する機能維持・回復のため、屋根改修、外壁改修、設備改修（設備機器の更新）等の補修工事を築20年、築60年を目途に実施するものとします。

目標使用年数を60年と設定した施設は、築20年、築40年を目途に実施するものとし、残存年数が少ない施設については、劣化状況を踏まえ、必要に応じて実施します。

【長寿命化のための改修サイクル】



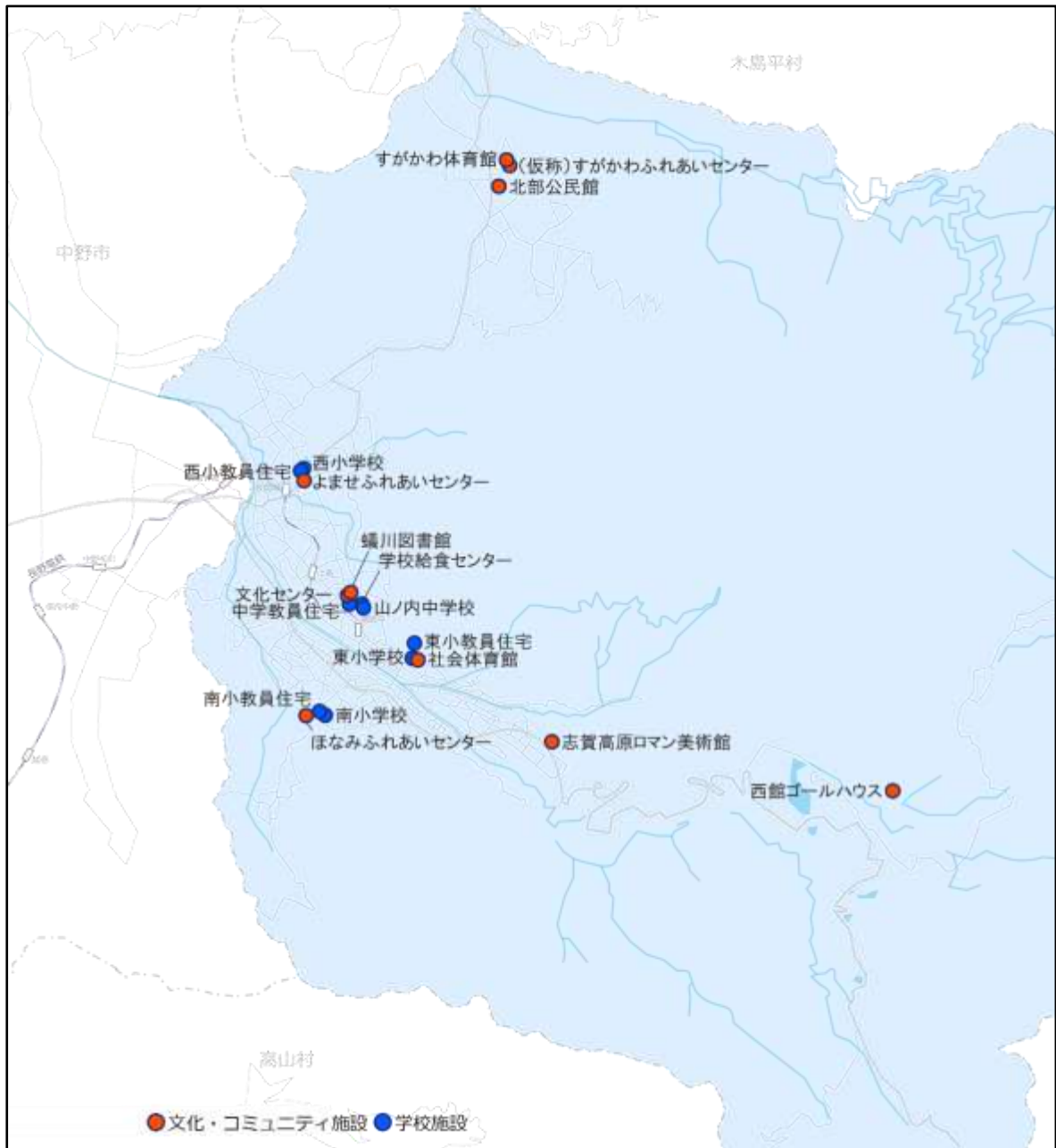
### 第3節 類型別方針

#### 1 文化・コミュニティ・学校施設

文化・コミュニティ施設は、不特定利用のある施設であり、運営による収入や利用状況、利用圏域に配慮して運営・管理や適正配置、更新等の方針を設定します。

学校施設は、小学校について、学校再編のあり方を検討し、児童数の減少を踏まえた適正配置、中学校、学校給食センターは学校との併設による適正配置、更新等の方針を設定します。

位置図





長期的な方向性

		方針
文化・コミュニティ施設	運営・管理	北部公民館、社会体育館は廃止、志賀高原ロマン美術館は譲渡又は廃止を検討、西館ゴールハウスは貸付、その他の施設は日常的な維持管理の委託
	適正配置	文化センター、蟻川図書館は拠点集約化、すがかわ体育館は近隣集約化 ほなみふれあいセンター、よませふれあいセンター、(仮称)すがかわふれあいセンターは類似集約化
	更新	文化センター、蟻川図書館は適正規模で建替え ほなみふれあいセンター、よませふれあいセンター、(仮称)すがかわふれあいセンターは地区施設、すがかわ体育館は社会体育施設として適正規模で建替え
	修繕・改修	志賀高原ロマン美術館は残存年数、譲渡又は廃止を見据え、計画改修、大規模改修を実施 (仮称)すがかわふれあいセンターは残存年数を見据え、計画改修のみを実施、その他の施設は計画改修、大規模改修を実施
学校施設	運営・管理	小学校、中学校は日常的な維持管理の委託、教員住宅は廃止を検討 学校給食センターは維持管理の委託又は指定管理を検討
	適正配置	東小学校、南小学校、西小学校は再編による類似集約化を検討 山ノ内中学校は小学校との併設による類似集約化を検討 学校給食センターは学校との併設による類似集約化を検討
	更新	小中学校は大規模施設として適正規模で建替え 学校給食センターは代表施設として適正規模で建替え
	修繕・改修	小学校は学校再編を見据え、計画改修のみを実施 中学校は残存年数を見据え、計画改修のみを実施 学校給食センターは残存年数を見据え、計画改修のみを実施

施設別方針

類型	施設名	目標使用年数	残存年数	運営・管理				適正配置			更新			修繕・改修		
				委託	指定	貸付	譲渡廃止	類似集約	近隣集約	拠点集約	代表施設	大規模施設	地区施設	修繕	計画改修	大規模改修
文化・コミュニティ施設	文化センター	80	47	○						○	○			○	○	○
	蟻川図書館	80	52	○						○	○			○	○	○
	ほなみふれあいセンター	80	53	○				○					○	○	○	○
	よませふれあいセンター	80	55	○				○					○	○	○	○
	(仮称)すがかわふれあいセンター	80	34	○				○					○	○	○	
	北部公民館	60	18				◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	志賀高原ロマン美術館	80	56	○			○	-	-	-	-	-	-	○	○	○
	社会体育館	80	29	○			◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	すがかわ体育館	80	35	○					○				○	○	○	
西館ゴールハウス	60	28			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
学校施設	東小教員住宅	50	11				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南小教員住宅	60	14				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西小教員住宅	60	17				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学教員住宅	60	12				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東小学校	80	41	○				○				○		○	○	
	南小学校	80	49	○				○				○		○	○	
	西小学校	80	45	○				○				○		○	○	
	山ノ内中学校	80	22	○				○				○		○	○	
	学校給食センター	60	22	○	○				○		○			○	○	

※◎は計画期間内に実施、○は計画期間以降26年間に実施

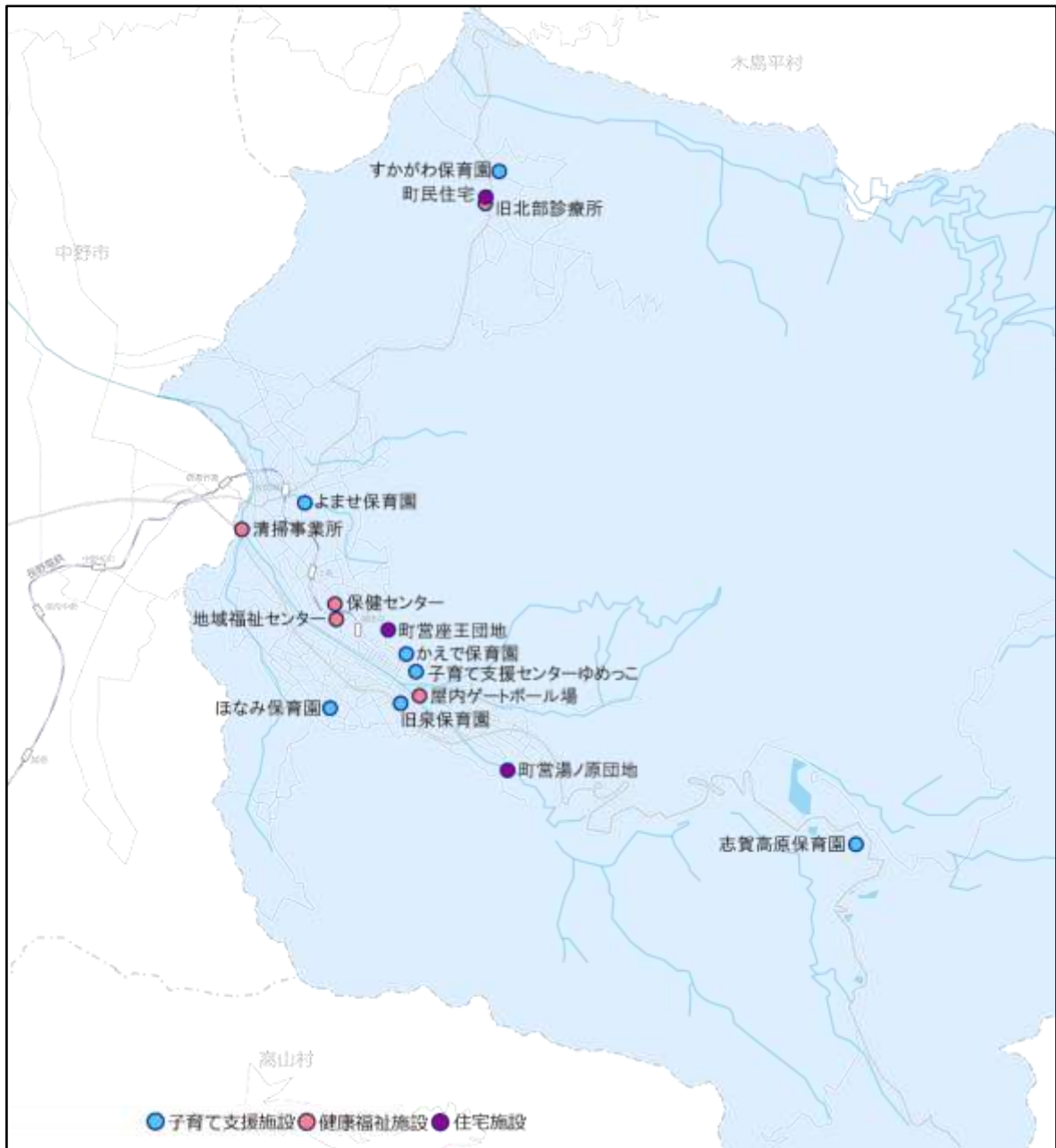
## 2 子育て支援・健康福祉・住宅施設

子育て支援・健康福祉施設は、特定利用のある施設であり、運営による収入や利用状況、利用圏域に配慮して運営・管理や適正配置、更新等の方針を設定します。

また、子育て支援施設は、類似集約を進め、総合こどもセンター化をめざします。

住宅施設は、入居需要に配慮しつつ、適正配置や更新を検討し、修繕・改修については「公営住宅等長寿命化計画」に基づき実施します。

位置図



長期的な方向性

		方針
子育て支援施設	運営・管理	旧泉保育園は廃止 その他の保育園、子育て支援センターゆめっこは日常的な維持管理の委託
	適正配置	保育園、子育て支援センターゆめっこは総合こどもセンターとして近隣集約化
	更新	保育園、子育て支援センターゆめっこは適正規模で建替え
	修繕・改修	かえで保育園は計画改修、大規模改修を実施 その他の保育園、子育て支援センターゆめっこは計画改修を実施
健康福祉施設	運営・管理	屋内ゲートボール場は指定管理を検討 その他の施設は日常的な維持管理の委託
	適正配置	屋内ゲートボール場は総合スポーツセンターとして拠点集約化 地域福祉センター、保健センターは総合健康福祉センターとして拠点集約化 旧北部診療所は周辺施設との近隣集約化
	更新	屋内ゲートボール場、地域福祉センター、保健センター、清掃事業所は代表施設として適正規模で建替え 旧北部診療所は地区施設として適正規模で建替え
	修繕・改修	屋内ゲートボール場、地域福祉センター、保健センターは計画改修、大規模改修を実施 旧北部診療所は計画改修を実施
住宅施設	運営・管理	町営湯ノ原団地は日常的な維持管理の委託 町営湯ノ原団地の一部（木造）、町営座王団地は廃止 町民住宅は譲渡又は廃止を見据え、計画改修のみを実施
	適正配置	町営湯ノ原団地は唯一の公営住宅として拠点集約化
	更新	町営湯ノ原団地は代表施設として適正規模で建替え
	修繕・改修	町営湯ノ原団地は公営住宅等長寿命化計画に基づき計画改修を実施 町民住宅は計画改修を実施

施設別方針

類型	施設名	目標使用年数	残存年数	運営・管理				適正配置			更新			修繕・改修		
				委託	指定	貸付	譲渡廃止	類似集約	近隣集約	拠点集約	代表施設	大規模施設	地区施設	修繕	計画改修	大規模改修
子育て支援施設	志賀高原保育園	60	14	○				○					○	○	○	
	ほなみ保育園	60	16	○				○					○	○	○	
	よませ保育園	60	17	○				○					○	○	○	
	すがかわ保育園	60	26	○				○					○	○	○	
	かえで保育園	80	67	○				○					○	○	○	○
	旧泉保育園	60	18					◎	-	-	-	-	-	-	-	-
子育て支援センターゆめっこ	60	25	○				○					○	○	○		
健康福祉施設	屋内ゲートボール場	80	56		○					○	○			○	○	○
	地域福祉センター	80	52	○						○	○			○	○	○
	保健センター	80	40	○						○	○			○	○	○
	旧北部診療所	60	26	○					○				○	○	○	
	清掃事業所	50	11	○				○			○			○		
住宅施設	町営湯ノ原団地	60	10	○				一部◎		○	○			○	○	
	町営座王団地	50	-2					◎	-	-	-	-	-	-	-	-
	町民住宅	60	23					○	-	-	-	-	-	○	○	-

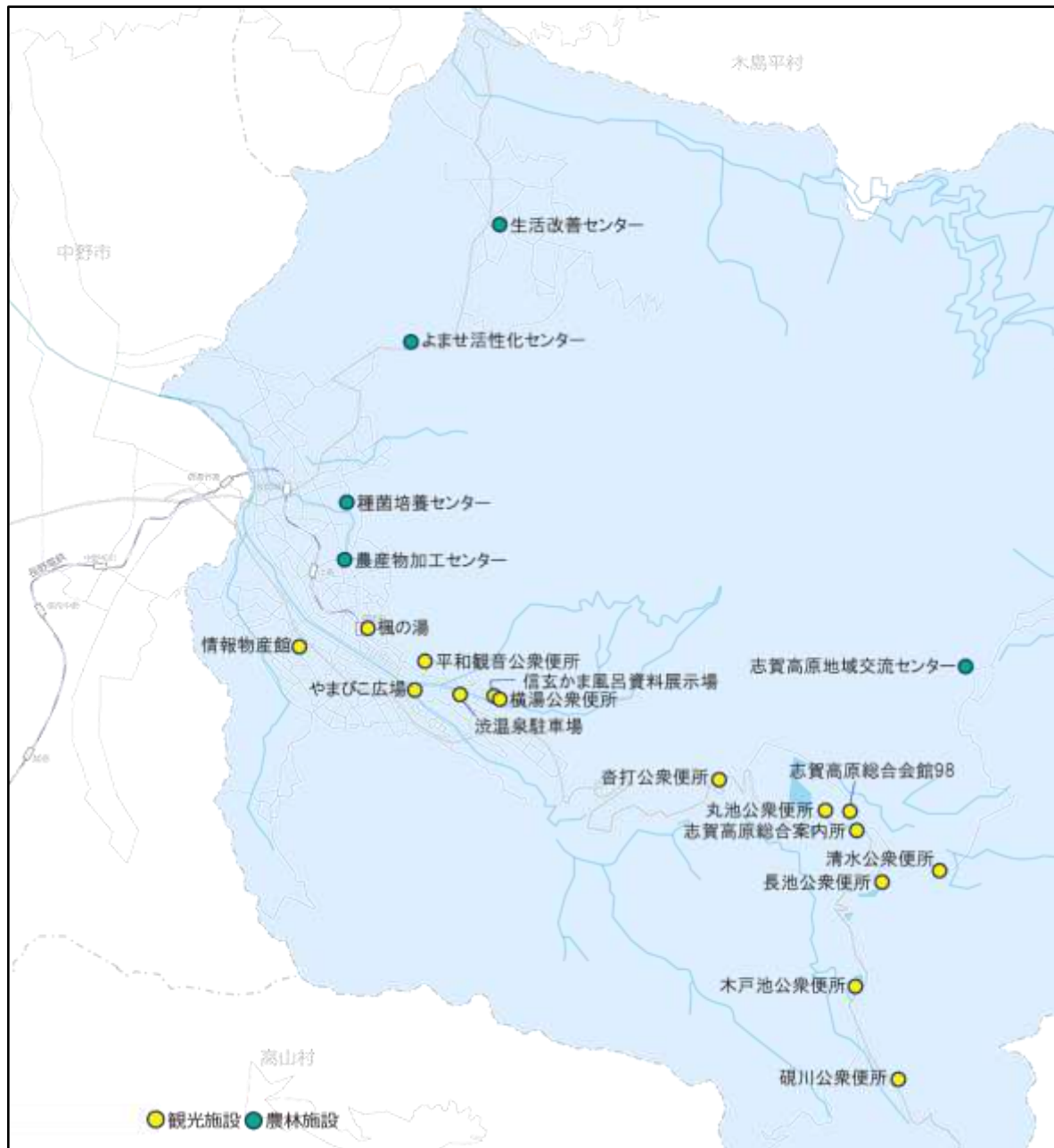
※◎は計画期間内に実施、○は計画期間以降26年間に実施

### 3 観光・農林施設

観光施設は、不特定利用及び特定利用のある施設であり、運営による収入や利用状況、入居状況に配慮して運営・管理や適正配置、更新等の方針を設定します。

農林施設は、利用者数の減少や設備の老朽化による事業量の増大が懸念されることから、譲渡又は廃止を進めます。

位置図



長期的な方向性

		方針
観光施設	運営・管理	志賀高原総合会館 98、情報物産館、楓の湯は指定管理を継続 志賀高原総合案内所は譲渡又は廃止 信玄かま風呂資料展示場、渋温泉駐車場は譲渡を検討 その他の施設は日常的な維持管理の委託
	適正配置	志賀高原総合会館 98 は総合交流センターとして拠点集約化 やまびこ広場、楓の湯は周辺施設との近隣集約化 その他の施設は類似集約化
	更新	志賀高原総合会館 98 は代表施設として適正規模で建替え その他の施設は地区施設として適正規模で建替え
	修繕・改修	志賀高原総合会館 98 は計画改修、大規模改修を実施 情報物産館、楓の湯は計画改修を実施
農林施設	運営・管理	よませ活性化センターは委託を検討 生活改善センター、種菌培養センター、農産物加工センターは譲渡又は廃止
	適正配置	よませ活性化センターは類似集約化 志賀高原地域交流センターは周辺施設との近隣集約化
	更新	よませ活性化センター、志賀高原地域交流センターは地区施設として適正規模で建替え
	修繕・改修	よませ活性化センターは計画改修を実施

施設別方針

類型	施設名	目標使用年数	残存年数	運営・管理				適正配置			更新			修繕・改修		
				委託	指定	貸付	譲渡廃止	類似集約	近隣集約	拠点集約	代表施設	大規模施設	地区施設	修繕	計画改修	大規模改修
観光施設	志賀高原総合会館 98	80	56		○					○	○			○	○	○
	志賀高原総合案内所	60	26				◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	情報物産館	60	37		○			○						○	○	
	やまびこ広場	50	15		○				○				○	○		
	楓の湯	60	42		○				○				○	○	○	
	信玄かま風呂資料展示場	60	23				◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	渋温泉駐車場	50	24				◎	-	-	-	-	-	○	○		
	横湯公衆便所	50	24	○				○					○	○		
	平和観音公衆便所	50	26	○				○					○	○		
	木戸池公衆便所	50	25	○				○					○	○		
	清水公衆便所	50	24	○				○					○	○		
	硯川公衆便所	50	21	○				○					○	○		
	沓打公衆便所	50	29	○				○					○	○		
	丸池公衆便所	50	21	○				○					○	○		
長池公衆便所	50	22	○				○					○	○			
農林施設	よませ活性化センター	60	38	○				○					○	○	○	
	志賀高原地域交流センター	60	41			○			○				○	○	○	
	生活改善センター	60	13				◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	種菌培養センター	60	25				◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	農産物加工センター	50	15				◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※◎は計画期間内に実施、○は計画期間以降 26 年間に実施

#### 4 行政施設（消防・庁舎等施設）

行政施設は、行政サービスの拠点である庁舎や防災機能を果たす消防車庫等があり、利用の有無に関わらず必要な施設であるため、地域や設置場所に配慮して管理や配置、更新等の方針を設定します。

位置図



長期的な方向性

		方針
庁舎等施設	運営・管理	町役場庁舎、田舎暮らし体験住宅は日常的な維持管理の委託 役場分室、旧和合保育園は廃止、大悲殿は譲渡又は廃止を検討
	適正配置	町役場庁舎は周辺施設の近隣及び拠点集約化 田舎暮らし体験住宅は近隣集約化
	更新	町役場庁舎は町を代表する総合行政センターとして適正規模で建替え 田舎暮らし体験住宅は地区施設として適正規模で建替え
	修繕・改修	町役場庁舎は計画改修、大規模改修を実施 目標使用年数を経過している大悲殿は修繕のみを実施し、良好な施設環境を維持
消防施設	運営・管理	山ノ内消防署は現状の貸付を継続し、その他の施設は日常的な維持管理を消防団に委託 金安及び渋温泉コミュニティ消防センターは指定管理を継続
	適正配置	山ノ内消防署は周辺施設の近隣及び拠点集約化 その他の施設は消防団の再編に対応して類似集約化
	更新	山ノ内消防署は消防の拠点センターとして適正規模で建替え その他の施設は地区施設として適正規模で建替え
	修繕・改修	山ノ内消防署は計画改修、大規模改修を実施 その他の施設は良好な施設環境を維持するため、適切な修繕を実施

施設別方針

類型	施設名	目標 使用年数	残存 年数	運営・管理				適正配置			更新			修繕・改修		
				委託	指定	貸付	譲渡 廃止	類似 集約	近隣 集約	拠点 集約	代表 施設	大規模 施設	地区 施設	修繕	計画 改修	大規模 改修
庁舎等施設	町役場庁舎	80	40	○					○	○	○			○	○	○
	役場分室	60	6				◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大悲殿	60	-21				○	-	-	-	-	-	-	○	-	-
	旧和合保育園	60	12				◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	田舎暮らし体験住宅	50	6	○					○				○	○	-	-
消防施設	山ノ内消防署	80	73			○			○	○	○			○	○	○
	金安コミュニティ消防センター	60	40		○			○					○	○	○	
	渋温泉コミュニティ消防センター	60	42		○			○					○	○	○	
	東部分団沓野部詰所	50	23	○				○					○	○	-	-
	東部分団湯田中部詰所	50	43	○				○					○	○	-	-
	東部分団上条部器具置場	50	42	○				○					○	○	-	-
	南部分団佐野コミュニティ消防センター	50	27	○				○					○	○	-	-
	南部分団寒沢部器具置場	50	-12	○				○					○	○	-	-
	南部分団菅部器具置場	50	12	○				○					○	○	-	-
	南部分団戸狩部詰所	50	24	○				○					○	○	-	-
	南部分団佐野部器具置場	50	21	○				○					○	○	-	-
	南部分団穂波温泉部詰所	50	24	○				○					○	○	-	-
	西部分団横前コミュニティ消防センター	50	28	○				○					○	○	-	-
	西部分団宇木コミュニティ消防センター	50	22	○				○					○	○	-	-
	西部分団コミュニティ消防センター	50	29	○				○					○	○	-	-
	北部分団表落合部詰所	50	19	○				○					○	○	-	-
	北部分団詰所	50	25	○				○					○	○	-	-
	北部分団乗廻コミュニティ消防センター	50	27	○				○					○	○	-	-
有線本部庁舎跡資材庫	60	24	○				○					○	○	-	-	

※◎は計画期間内に実施、○は計画期間以降26年間に実施

## 第4節 長期的な事業の見通し

### 1 維持・更新コスト

36年間にわたる長期的な事業の見通しを把握し、長寿命化による縮減効果を検証するため、以下に示す3ケースの事業内容及び算出条件により施設の維持・更新コストを算出します。

さらに、類型別方針に基づく場合については、計画期間におけるコストも算出し、実施可能な事業量を把握します。

ケース別事業内容及び算出条件

			長寿命化しない場合	長寿命化する場合	類型別方針に基づく場合
事業内容			使用年数を50年とし、大規模改修は実施しない従来型のケース	一定規模以上の施設について、使用年数を60年、80年とし、大規模改修を実施するケース	長寿命化をする場合を基に、廃止、複合、集約化により実施可能な事業量で実施するケース
試算期間（総合管理計画算出期間）			36年	36年	36年
事業の考え方			全ての施設を保有	全ての施設を保有	基本方針における適正配置等を考慮
目標使用年数	RCS	概ね1,000㎡以上	50年	80年	80年
		概ね100～1,000㎡未満	50年	60年	60年
	CB	100㎡以上	50年	60年	60年
	W	概ね1,000㎡以上	50年	80年	80年
		概ね100～1,000㎡未満	50年	60年	60年
事業内容	修繕		全ての施設で実施	全ての施設で実施	全ての施設で実施
	計画改修		50年で実施（25年毎）	60年、80年で実施（20年毎）	譲渡・廃止を除く60年、80年で実施（20年毎）
	大規模改修		実施しない	80年で実施（40年毎）	残存年数の少ない施設を除き80年で実施（40年毎）
	更新		目標使用年数経過時に実施	目標使用年数経過時に実施	譲渡・廃止を除き目標使用年数経過時に実施
事業費	修繕		過去10年間の年平均支出実績	過去10年間の年平均支出実績	過去10年間の年平均支出実績
	計画改修		大規模改修の50%	大規模改修の50%	大規模改修の50%
	大規模改修		—	公共施設等更新費用試算ソフト単価による	公共施設等更新費用試算ソフト単価による
	更新		公共施設等更新費用試算ソフト単価による	公共施設等更新費用試算ソフト単価による	公共施設等更新費用試算ソフト単価による
支出可能額（億円/年）			考慮しない	考慮しない	4.2億円
事業量の平準化			考慮しない	考慮しない	考慮

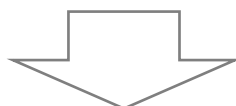


公共施設等更新費用試算ソフト単価

(千円/m<sup>2</sup>)

施設分類	主な施設	大規模改修	更新	想定される構造
市民文化系施設	公民館、市民会館	250	400	SRC, RC, S
社会教育系施設	図書館・博物館・美術館	250	400	SRC, RC, S
スポーツ・レクリエーション	市民体育館、野球場、少年自然の家	200	360	SRC, RC, S
産業系施設	勤労会館、産業振興センター	250	400	SRC, RC, S
医療施設	市民病院	250	400	SRC, RC, S
保健・福祉施設	保健センター、老人福祉・障害福祉センター	200	360	SRC, RC, S、W
子育て支援施設	保育園、児童館 等	170	330	SRC, RC, S、W
行政系施設	庁舎、支所 等	250	400	SRC, RC, S
学校教育系施設	小学校、中学校	170	330	SRC, RC, S
公営住宅	市営住宅	170	280	SRC, RC, S、PC、CB、W
公園	管理棟、倉庫、便所	170	330	S、PC、CB、W
その他	公衆トイレ、自転車置場	200	360	S、PC

(地域総合整備財団)



改修・更新費設定単価

(千円/m<sup>2</sup>)

類型	試算ソフト施設分類	計画改修	大規模改修	更新	想定される構造
文化・コミュニティ施設	市民文化系施設	125	250	400	SRC, RC, S
	スポーツ・レクリエーション	100	200	360	SRC, RC, S
学校施設	学校教育系施設	85	170	330	SRC, RC, S
子育て支援施設	子育て支援施設	85	170	330	SRC, RC, S、W
健康福祉施設	保健・福祉施設	100	200	360	SRC, RC, S、W
住宅施設	公営住宅	85	170	280	SRC, RC, S、PC、CB、W
観光施設	産業系施設	125	250	400	SRC, RC, S
農林施設	産業系施設	125	250	400	SRC, RC, S
庁舎等施設	行政系施設	125	250	400	SRC, RC, S
消防施設	行政系施設	125	250	400	SRC, RC, S

※計画改修：大規模改修の50%

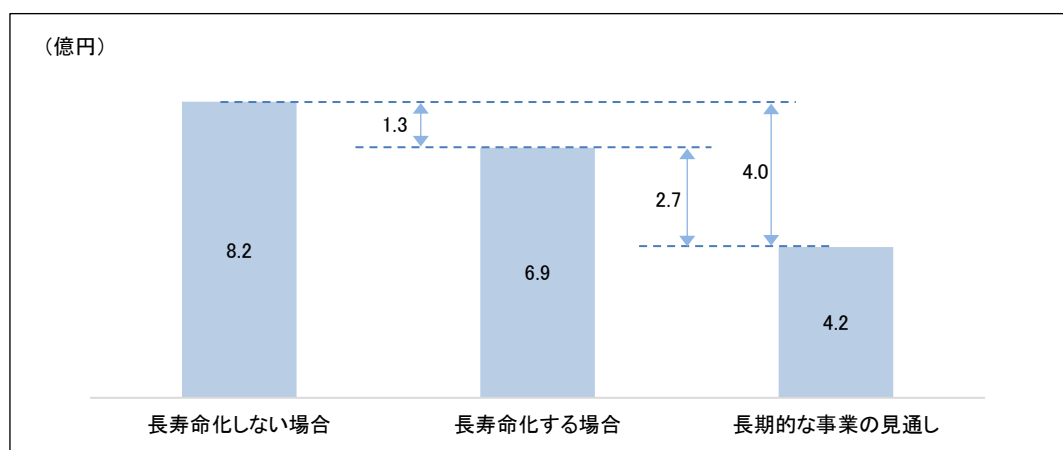
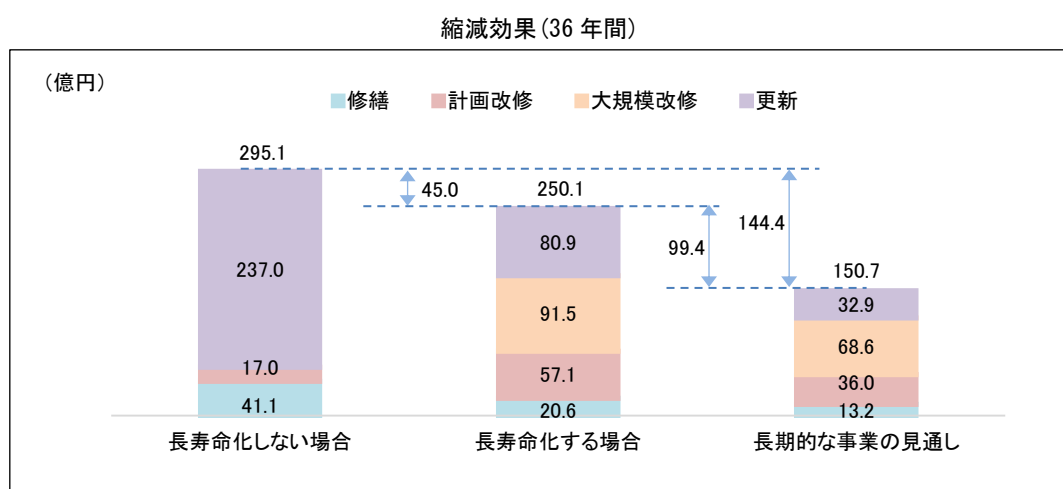
## 2 縮減効果

### (1) 長寿命化による縮減効果

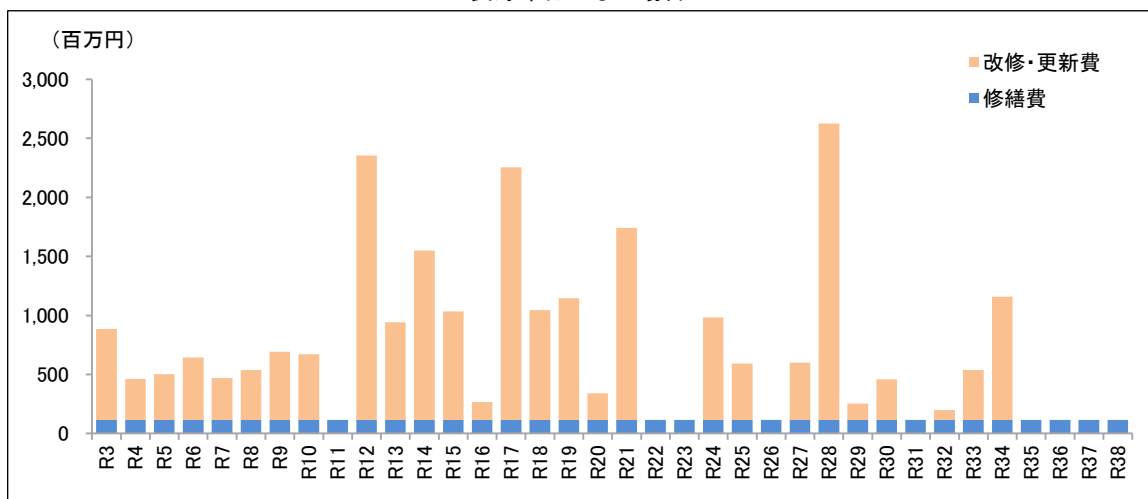
長寿命化しない場合と長寿命化する場合で比較してみると、長寿命化しない場合が295億1,000万円、年平均8億2,000万円、長寿命化する場合が250億1,000万円、年平均6億9,000万円となり、36年間で45億円、年平均1億3,000万円の縮減効果が期待されます。

### (2) 類型別方針に基づく縮減効果

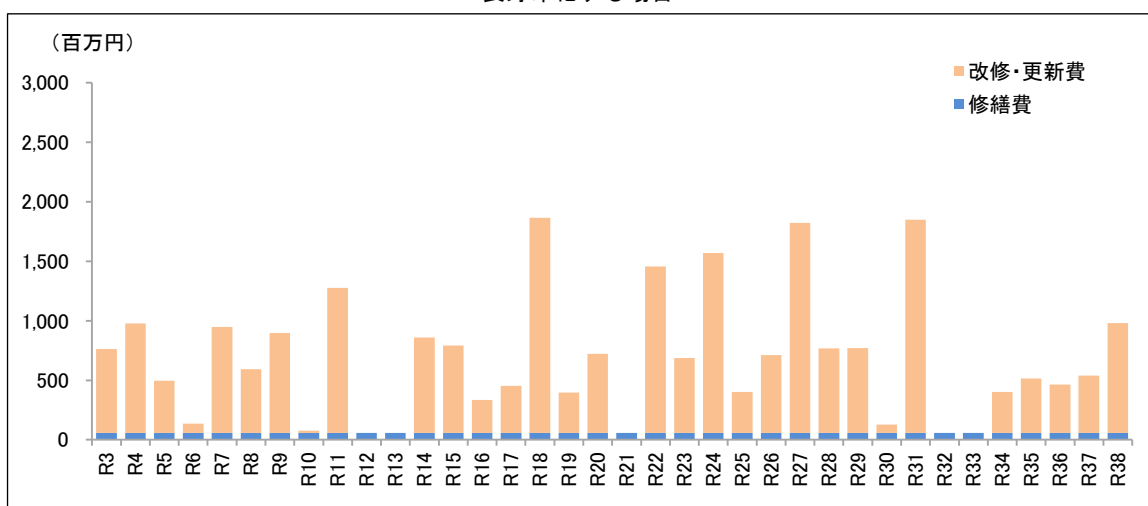
長寿命化する場合と長期的な事業の見通しによる場合で比較してみると、長期的な事業の見通しが150億7,000万円、年平均4億2,000万円となり、36年間で99億4,000万円、年平均2億7,000万円の縮減効果が期待されます。



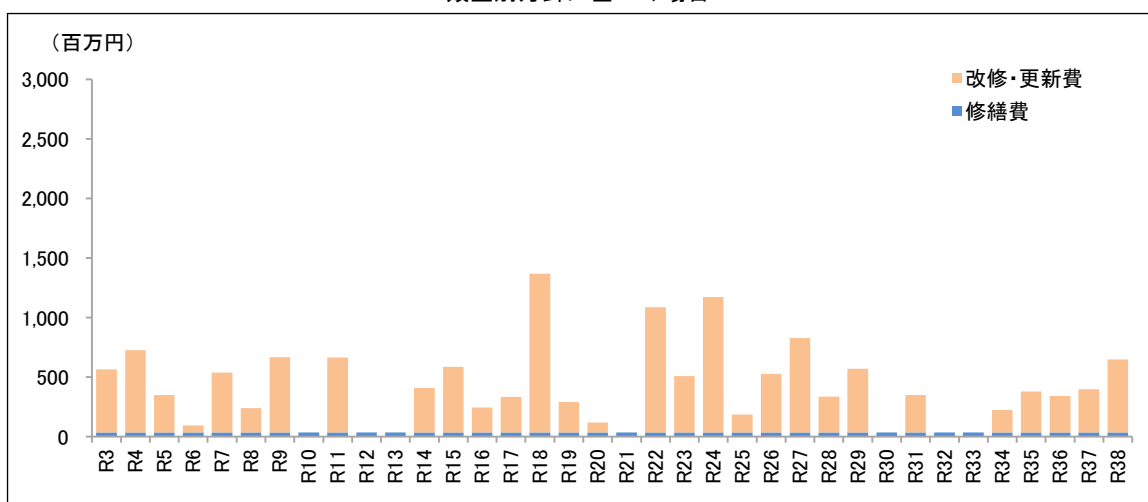
長寿命化しない場合



長寿命化する場合



類型別方針に基づく場合



### 3 類型別方針に基づく長期的な事業の見通し

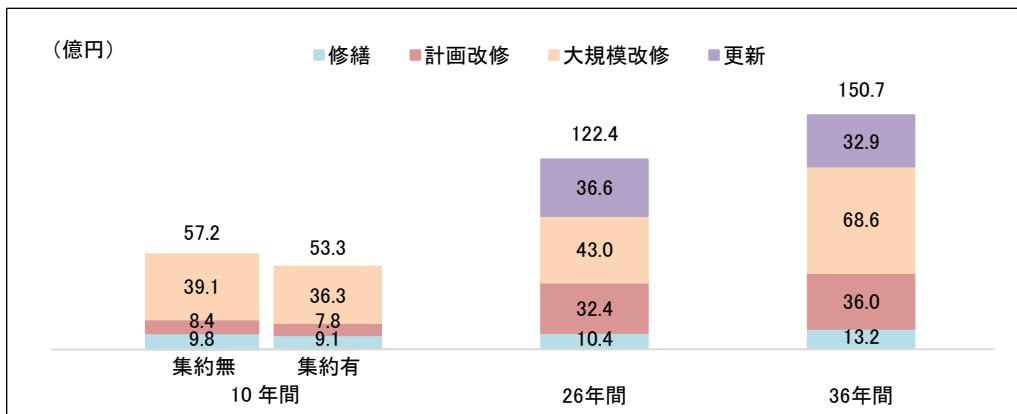
#### (1) 計画期間は集約しない場合

類型別方針に基づく長期的な事業量（36年間、4億2,000万円/年）は、支出可能額となりますが、計画期間では5億7,000万円/年で1億5,000万円/年、計画期間以降では4億7,000万円/年で5,000万円/年の不足となります。

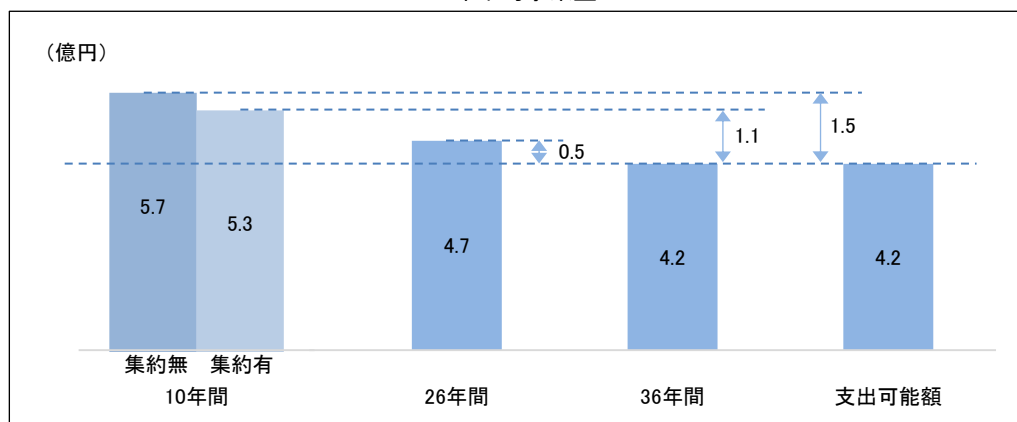
#### (2) 計画期間も集約する場合

計画期間では5億3,000万円/年となり、支出可能額の4億2,000万円/年に対して1億1,000万円/年の不足となります。

長期的な事業量



年平均事業量



譲渡又は廃止予定施設

計画期間 (2021~2030 年度)	面積㎡	計画期間以降 (2031~2056 年度)	面積㎡
北部公民館	633	志賀高原ロマン美術館	1,389
社会体育館	3,812	町民住宅	232
旧泉保育園	921	渋温泉駐車場	90
町営湯ノ原団地 (一部)	126	大悲殿	436
志賀高原総合案内所	638	教員住宅	1,044
信玄かま風呂資料展示場	171		
生活改善センター	275		
種菌培養センター	1,768		
役場分室	459		
旧和合保育園	763		
町営座王団地	315		
農産物加工センター	63		

※公共施設縮減率 = (H28 から既に譲渡・廃止した面積 + 計画期間譲渡・廃止対象面積) ÷ 公共施設等総合管理計画時延床面積  
 15.9% = ( 2,517.5㎡ + 9,944㎡ ) ÷ 78,311㎡

事業内容

○は1回、◎は2回実施

名称	建築年度	計画期間			計画期間以降			長期期間（36年間）		
		改修		更新	改修		更新	改修		更新
		計画	大規模		計画	大規模		計画	大規模	
文化センター	S62		○		○			○	○	
蟻川図書館	H4				○	○		○	○	
ほなみふれあいセンター	H5				○	○		○	○	
よませふれあいセンター	H7				○	○		○	○	
(仮称)すがかわふれあいセンター	S49		○		○		○	○	○	○
志賀高原ロマン美術館*	H8				○	○		○	○	
すがかわ体育館	S50				○		○	○		○
西館ゴールハウス*	S63									
東小学校	南棟	S56		○		○		○	○	
	中棟	S57		○		○		○	○	
	北棟	S58		○		○		○	○	
	大体育館	S57		○		○		○	○	
南小学校	教室棟	H元		○		○		○	○	
	屋内体育館	H元		○		○		○	○	
西小学校	特別教室棟	S60		○		○		○	○	
	管理教室棟	S60		○		○		○	○	
	学年教室棟	S60		○		○		○	○	
	屋内体育館	S60		○		○		○	○	
山ノ内中学校	教室棟	S37					○			○
	管理棟	S39					○			○
	特別教室棟	H14	○			○		○	○	
	格技室棟	S59		○		○		○	○	
	体育館・渡廊下	S40					○			○
学校給食センター	S57						○		○	
志賀高原保育園	S49				○		○	○	○	
ほなみ保育園	S51				○		○	○	○	
よませ保育園	S52						○		○	
すがかわ保育園	S61	○					○	○	○	
かえで保育園	H19	○				○		○	○	
子育て支援センターゆめっこ	S60	○					○	○	○	
屋内ゲートボール場	H8				○	○		○	○	
地域福祉センター	福祉センター1	H4				○	○	○	○	
	福祉センター2	H13	○				○	○	○	
保健センター	S55					○		○		
旧北部診療所	S61	○					○	○	○	
町営湯ノ原団地	S48	○			○		○	◎	○	
町民住宅	S58	○					○	○		
志賀高原総合会館 98	H8				○	○		○	○	
情報物産館	H9				○			○		
楓の湯	H14	○			○			◎		
よませ活性化センター	H10				○			○		
志賀高原地域交流センター	H13	○			○			◎		
町役場庁舎	S55					○			○	
山ノ内消防署	H25				○	○		○	○	
金安コミュニティ消防センター	H12				○			○		
渋温泉コミュニティ消防センター	H14	○			○			◎		

※志賀高原ロマン美術館、町民住宅は譲渡又は廃止とするが、改修事業は実施を予定

※西館ゴールハウスは貸付とするが、改修事業は行わないものとする

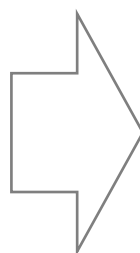
事業量（計画期間は集約しない場合）

（億円）

	計画期間（10年間）			
	計画	大規模	更新	計
改修・更新費	8.4	39.1	0.0	47.4
修繕費				9.8
事業費計				57.2
年平均事業費				5.7
年平均支出可能額				4.2
年平均かい離額				1.5

長期期間（36年間）			
計画	大規模	更新	計
36.0	68.6	32.9	137.5
			13.2
			150.7
			4.2
			4.2
			0.0

名称	目標 使用 年数	事業量（百万円）			
		計画期間（10年間）			
		計画	大規模	更新	計
文化センター	80		644		644
蟻川図書館	80				0
ほなみふれあいセンター	80				0
よませふれあいセンター	80				0
(仮称)すがかわふれあいセンター	80		228		228
志賀高原口マン美術館	80				0
すがかわ体育館	80				0
東小学校	南棟	80		285	285
	中棟	80		448	448
	北棟	80		399	399
	大体育館	80		190	190
南小学校	教室棟	80		631	631
	屋内体育館	80		207	207
西小学校	特別教室棟	80		130	130
	管理教室棟	80		315	315
	学年教室棟	80		192	192
	屋内体育館	80		158	158
山ノ内中学校	教室棟	80			0
	管理棟	80			0
	特別教室棟	80	208		208
	格技室棟	80		79	79
	体育館・渡廊下	80			0
学校給食センター	60				0
志賀高原保育園	60				0
ほなみ保育園	60				0
よませ保育園	60				0
すがかわ保育園	60	63			63
かえで保育園	80	196			196
子育て支援センターゆめっこ	60	68			68
屋内ゲートボール場	80				0
地域福祉センター	福祉センター1	80			0
	福祉センター2	80	92		92
保健センター	80				0
旧北部診療所	60	16			16
町営湯ノ原団地	60	72			72
町民住宅	60	20			20
志賀高原総合会館 98	80				0
情報物産館	60				0
楓の湯	60	37			37
よませ活性化センター	60				0
志賀高原地域交流センター	60	28			28
町役場庁舎	80				0
山ノ内消防署	80				0
金安コミュニティ消防センター	60				0
渋温泉コミュニティ消防センター	60	37			37



事業量（百万円）			
長期期間（36年間）			
計画	大規模	更新	計
242	483		725
46	93		139
112	223		335
114	228		341
85	171	273	529
130	260		391
69		247	316
107	214		321
168	336		505
150	299		449
71	143		214
237	473		710
78	155		233
49	97		146
118	236		354
72	144		216
59	118		177
		527	527
		461	461
156	313		469
30	59		89
		370	370
		205	205
32		124	156
58		227	285
		221	221
47		184	232
147	293		440
51		197	248
82	164		247
140	280		419
69	138		208
	158		158
12		43	55
109		211	320
15			15
340	680		1,020
32			32
55			55
81			81
42			42
	873		873
116	232		348
20			20
56			56

※年平均支出可能額：直近6年間の公共建築物に係る年平均投資的経費

※修繕費：直近6年間の年平均実績値×縮減面積割合×修繕費率（計画期間100%、その他50%）

※施設規模の集約率：75%

事業量（計画期間も集約する場合）

（億円）

	計画期間（10年間）			
	計画	大規模	更新	計
改修・更新費	7.8	36.3	0.0	44.1
修繕費				9.1
事業費計				53.3
年平均事業費				5.3
年平均支出可能額				4.2
年平均かい離額				1.1

長期期間（36年間）			
計画	大規模	更新	計
36.0	68.6	32.9	137.5
			13.2
			150.7
			4.2
			4.2
			0.0

名称	目標 使用 年数	事業量（百万円）				
		計画期間（10年間）				
		計画	大規模	更新	計	
文化センター	80		599		599	
蟻川図書館	80				0	
ほなみふれあいセンター	80				0	
よませふれあいセンター	80				0	
(仮称)すがかわふれあいセンター	80		212		212	
志賀高原ロマン美術館	80				0	
すがかわ体育館	80				0	
東小学校	南棟	80		266		266
	中棟	80		417		417
	北棟	80		371		371
	大体育館	80		177		177
南小学校	教室棟	80		587		587
	屋内体育館	80		193		193
西小学校	特別教室棟	80		121		121
	管理教室棟	80		293		293
	学年教室棟	80		179		179
	屋内体育館	80		147		147
山ノ内中学校	教室棟	80				0
	管理棟	80				0
	特別教室棟	80	194			194
	格技室棟	80		73		73
	体育館・渡廊下	80				0
学校給食センター	60				0	
志賀高原保育園	60				0	
ほなみ保育園	60				0	
よませ保育園	60				0	
すがかわ保育園	60	59			59	
かえで保育園	80	182			182	
子育て支援センターゆめっこ	60	63			63	
屋内ゲートボール場	80				0	
地域福祉センター	福祉センター1	80			0	
	福祉センター2	80	86		86	
保健センター	80				0	
旧北部診療所	60	15			15	
町営湯ノ原団地	60	67			67	
町民住宅	60	18			18	
志賀高原総合会館 98	80				0	
情報物産館	60				0	
楓の湯	60	34			34	
よませ活性化センター	60				0	
志賀高原地域交流センター	60	26			26	
町役場庁舎	80				0	
山ノ内消防署	80				0	
金安コミュニティ消防センター	60				0	
渋温泉コミュニティ消防センター	60	35			35	

事業量（百万円）			
長期期間（36年間）			
計画	大規模	更新	計
242	483		725
46	93		139
112	223		335
114	228		341
85	171	273	529
130	260		391
69		247	316
107	214		321
168	336		505
150	299		449
71	143		214
237	473		710
78	155		233
49	97		146
118	236		354
72	144		216
59	118		177
		527	527
		461	461
156	313		469
30	59		89
		370	370
		205	205
32		124	156
58		227	285
		221	221
47		184	232
147	293		440
51		197	248
82	164		247
140	280		419
69	138		208
	158		158
12		43	55
109		211	320
15			15
340	680		1,020
32			32
55			55
81			81
42			42
	873		873
116	232		348
20			20
56			56



※年平均支出可能額：直近6年間の公共建築物に係る年平均投資的経費

※修繕費：直近6年間の年平均実績値×縮減面積割合×修繕費率（計画期間100%、その他50%）

※施設規模の集約率：75%





# 公共施設整備計画

---

# 第4章

## 第1節 事業方針

### 1 事業量の平準化

#### (1) 計画期間における年度別事業

本計画では、長期的な事業の見通しで検討された類型別方針（計画期間は集約しない）に基づく場合を事業方針として年度別事業計画を作成します。

事業周期による年度別事業（5億7,000万円/年）は次表のようになりますが、支出可能額4億2,000万円/年の範囲で実施可能となるよう、事業量の平準化を図ります。

集約しない場合の事業周期による年度別事業

名称	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
文化センター							大規模			
蟻川図書館										
ほなみふれあいセンター										
よませふれあいセンター										
(仮称)すがかわふれあいセンター	大規模									
志賀高原ロマン美術館										
すがかわ体育館										
東小学校	南棟	大規模								
	中棟		大規模							
	北棟			大規模						
	大体育館		大規模							
南小学校	教室棟								大規模	
	屋内体育館								大規模	
西小学校	特別教室棟					大規模				
	管理教室棟					大規模				
	学年教室棟						大規模			
	屋内体育館					大規模				
山ノ内中学校	教室棟									
	管理棟									
	特別教室棟		計画							
	格技室棟				大規模					
	体育館・渡廊下									
学校給食センター										
志賀高原保育園										
ほなみ保育園										
よませ保育園										
すがかわ保育園						計画				
かえで保育園							計画			
子育て支援センターゆめっこ						計画				
屋内ゲートボール場										
地域福祉センター	福祉センター1									
	福祉センター2	計画								
保健センター										
旧北部診療所						計画				
町営湯ノ原団地	計画									
町民住宅			計画							
志賀高原総合会館 98										
情報物産館										
楓の湯		計画								
よませ活性化センター										
志賀高原地域交流センター	計画									
町役場庁舎										
山ノ内消防署										
金安コミュニティ消防センター										
渋温泉コミュニティ消防センター		計画								
事業費計（百万円）	804	1,019	517	177	768	369	938	98	936	98

(2) 平準化による計画期間の年次別事業

支出可能額 4 億 2,000 万円/年の範囲内に財政負担を軽減するため、以下の考え方にに基づき事業量の平準化を図ることとします。

平準化条件

単年度の事業費	年平均事業費 4 億 2,000 万円に近づける
事業時期の変更	改修や更新が集中する年度がある場合、前後で調整する
複数年度での実施	施設の規模が大きく事業費が多額となる場合には、複数年度での実施とする
改修事業の変更	再編を検討している小中学校や残存年数が少ない施設は大規模改修から計画改修へ変更

平準化による年度別事業

名称	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
文化センター				大規模	大規模					
蟻川図書館										
ほなみふれあいセンター										
よませふれあいセンター										
(仮称)すがかわふれあいセンター	大規模									
志賀高原ロマン美術館										
すがかわ体育館										
東小学校	南棟	計画	計画	計画						
	中棟		計画	計画						
	北棟					計画	計画			
	大体育館			計画	計画					
南小学校	教室棟							計画	計画	
	屋内体育館								計画	計画
西小学校	特別教室棟					計画				
	管理教室棟						計画			
	学年教室棟					計画				
	屋内体育館								計画	
山ノ内中学校	教室棟									
	管理棟									
	特別教室棟						計画	計画		
	格技室棟			計画						
	体育館・渡廊下									
学校給食センター										
志賀高原保育園										
ほなみ保育園										
よませ保育園										
すがかわ保育園							計画			
かえで保育園										計画
子育て支援センターゆめっこ						計画				
屋内ゲートボール場										
地域福祉センター	福祉センター1									
	福祉センター2		計画							
保健センター										
旧北部診療所										計画
町営湯ノ原団地	計画	計画								
町民住宅									計画	
志賀高原総合会館 98										
情報物産館										
楓の湯										計画
よませ活性化センター										
志賀高原地域交流センター			計画							
町役場庁舎										
山ノ内消防署										
金安コミュニティ消防センター										
渋温泉コミュニティ消防センター				計画						
事業費計(百万円)	457	434	420	414	430	426	423	380	386	398

## 2 優先順位の設定

### (1) 劣化状況からみた優先性

現況劣化と経年劣化の状況から優先表を基に、平準化に基づく計画期間の年次から優先性に基づく計画期間の年次を設定すると、以下のとおりとなります。

事業対象施設の劣化状況

		現況劣化			
		A	B	C	D
経年劣化	a	山ノ内消防署(14)			
	b	山ノ内中学校特別教室棟(14) かえで保育園(14)	楓の湯(21) 志賀高原地域交流センター(21) 地域福祉センター2(20)	渋温泉コミュニティ消防センター(28)	
	c	志賀高原総合会館98(14) 情報物産館店舗(14) よませ活性化センター(14)	屋内ゲートボール場(21) 蟻川図書館(20) ほなみふれあいセンター(20) よませふれあいセンター(20)	地域福祉センター1(29)	
	d		南小学校屋内体育館(21) 学校給食センター(21) 旧北部診療所(21) 西館ゴールハウス(20)	山ノ内中学校格技室棟(29) 東小学校北棟(28) 東小学校大体育館(28) 西小学校屋内体育館(28) 南小学校教室棟(27) 西小学校管理教室棟(27) すがかわ保育園(27) 町民住宅	東小学校南棟(35) 東小学校中棟(35) 子育て支援センターゆめっこ(34) 西小学校特別教室棟(34) 文化センター(34) 西小学校低学年教室棟(34)
	e	山ノ内中学校教室棟(14) 山ノ内中学校管理棟(14) 山ノ内中学校体育館(14)	保健センター(21) 町役場庁舎(21) 志賀高原保育園(20) すがかわ体育館(20) ほなみ保育園(20) よませ保育園棟(20)	町営湯ノ原団地 52	(仮称)すがかわふれあいセンター(35) 町営湯ノ原団地 48~51

事業周期により計画期間の対象となる施設

( ) は現況劣化度

劣化状況の優先表

		現況劣化				
		A	B	C	D	
		概ね良好	やや劣化が進んでいる	劣化が進んでいる	著しく劣化している	
経年劣化	a	10年未満	優先性 8	優先性 7	優先性 6	優先性 5
	b	10~20年未満	優先性 7	優先性 6	優先性 5	優先性 4
	c	20~30年未満	優先性 6	優先性 5	優先性 4	優先性 3
	d	30~40年未満	優先性 5	優先性 4	優先性 3	優先性 2
	e	40年以上	優先性 4	優先性 3	優先性 2	優先性 1

平準化に基づく計画期間年次別施設

年度	名称	優先性
R3	(仮称)すがかわふれあいセンター(35)	1
R3	東小学校南棟(35)	2
R3	町営湯ノ原団地 48~51	1
R4	東小学校中棟(35)	2
R4	地域福祉センター2(20)	6
R5	東小学校大体育館(28)	3
R5	山ノ内中学校格技室棟(29)	3
R5	志賀高原地域交流センター(21)	6
R6	文化センター(34)	2
R6	渋温泉コミュニティ消防センター	5
R7	東小学校北棟(28)	3
R8	西小学校特別教室棟(34)	2
R8	西小学校低学年教室棟(34)	2
R8	子育て支援センターゆめっこ(34)	2
R9	西小学校管理教室棟(27)	3
R9	山ノ内中学校特別教室棟(14)	7
R9	すがかわ保育園(27)	3
R10	南小学校教室棟(27)	3
R10	町民住宅	3
R11	南小学校屋内体育館(21)	4
R11	西小学校屋内体育館(28)	3
R12	かえで保育園(14)	7
R12	旧北部診療所(21)	4
R12	楓の湯(21)	6

優先性に基づく計画期間年次別施設

年度	名称	優先性
R3	(仮称)すがかわふれあいセンター(35)	1
R3	町営湯ノ原団地 48~51	1
R3	東小学校南棟(35)	2
R4	東小学校中棟(35)	2
R4	西小学校特別教室棟(34)	2
R4	子育て支援センターゆめっこ(34)	2
R5	西小学校低学年教室棟(34)	2
R6	文化センター(34)	2
R6	東小学校大体育館(28)	3
R7	東小学校北棟(28)	3
R8	西小学校屋内体育館(28)	3
R8	山ノ内中学校格技室棟(29)	3
R8	すがかわ保育園(27)	3
R8	町民住宅	3
R9	南小学校教室棟(27)	3
R9	西小学校管理教室棟(27)	3
R10	南小学校屋内体育館(21)	4
R10	旧北部診療所(21)	4
R10	渋温泉コミュニティ消防センター	5
R10	楓の湯(21)	6
R11	地域福祉センター2(20)	6
R11	志賀高原地域交流センター(21)	6
R11	山ノ内中学校特別教室棟(14)	7
R12	かえで保育園(14)	7

(2) 優先性による年度別事業

事業対象施設のうち前項で示した事業周期・平準化による年度別事業を踏まえ、劣化状況からみた優先性を考慮した年度別事業は、以下のようになります。

優先性による年度別事業

名称		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
文化センター					大規模	大規模					
蟻川図書館											
ほなみふれあいセンター											
よませふれあいセンター											
(仮称)すがかわふれあいセンター		大規模									
志賀高原ロマン美術館											
すがかわ体育館											
東小学校	南棟	計画	計画	計画							
	中棟		計画	計画							
	北棟					計画	計画				
	大体育館				計画	計画					
南小学校	教室棟							計画	計画		
	屋内体育館								計画	計画	
西小学校	特別教室棟		計画								
	管理教室棟							計画			
	学年教室棟			計画							
	屋内体育館						計画				
山ノ内中学校	教室棟										
	管理棟										
	特別教室棟									計画	計画
	格技室棟						計画				
体育館・渡廊下											
学校給食センター											
志賀高原保育園											
ほなみ保育園											
よませ保育園											
すがかわ保育園							計画				
かえで保育園											計画
子育て支援センターゆめっこ			計画								
屋内ゲートボール場											
地域福祉センタ	福祉センター1										
	福祉センター2									計画	
保健センター											
旧北部診療所									計画		
町営湯ノ原団地		計画	計画	計画	計画						
町民住宅							計画				
志賀高原総合会館 98											
情報物産館											
楓の湯									計画		
よませ活性化センター											
志賀高原地域交流センター										計画	
町役場庁舎											
山ノ内消防署											
金安コミュニティ消防センター											
渋温泉コミュニティ消防センター									計画		
事業費計(百万円)		439	456	419	396	477	399	413	397	374	398

### 3 年度別整備計画

#### (1) 改修・修繕事業

計画期間の事業量は、22施設の計画改修、大規模改修により30億2,700万円、修繕費を含め40億700万円を想定します。

文化・コミュニティ施設は、(仮称)すがかわふれあいセンター、よませふれあいセンターの計画改修を令和3年、令和5年に、文化センターの大規模改修を令和6~7年に、ほなみふれあいセンターの計画改修を令和8年に予定します。

学校施設は、既の実施済の山ノ内中学校教室棟・管理棟・体育館以外の計画改修を令和5~12年に予定します。

子育て支援施設は、子育て支援センターゆめっこ、すがかわ保育園の計画改修を令和9年、令和10年に予定します。

健康福祉施設は、旧北部診療所、地域福祉センター2の計画改修を令和12年に予定します。

住宅施設は、町営湯ノ原団地、町民住宅の計画改修を令和3~7年、観光施設は、楓の湯の計画改修を令和5年に予定します。

事業計画

名称	延床面積 ㎡	構造 階数	竣工 年度	経過 年数	残存 年数	目標 使用 年数	事業内容			事業量(百万円)				
							改修			改修			更新	計
							計 画	大 規 模	更 新	計 画	大 規 模	更 新		
文化センター	2,577	SRC3B1	S62	33	47	80		○			464		464	
ほなみふれあいセンター	1,207	S2	H5	27	53	80	○			151			151	
よませふれあいセンター	1,229	S2	H7	25	55	80	○			153			153	
(仮称)すがかわふれあいセンター	910	RC2	S49	46	34	80	○			255			255	
東小学校	南棟	1,679	RC2	S56	39	41	80	○			285		285	
	中棟	2,638	RC3	S57	38	42	80	○			224		224	
	北棟	2,346	RC3	S58	37	43	80	○			200		200	
	大体育館	1,119	RC2	S57	38	42	80	○			96		96	
南小学校	教室棟	3,713	RC3	H元	31	49	80	○			158		158	
	屋内体育館	1,219	RC2	H元	31	49	80	○			104		104	
西小学校	特別教室棟	762	RC2	S60	35	45	80	○			65		65	
	管理教室棟	1,853	RC2	S60	35	45	80	○			158		158	
	学年教室棟	1,129	RC1	S60	34	46	80	○			96		96	
	屋内体育館	928	RC1	S60	35	45	80	○			79		79	
山ノ内中学校	格技室棟	463	S2	S59	36	44	80	○			39		39	
すがかわ保育園		744	S1	S61	34	26	60	○			63		63	
子育て支援センターゆめっこ		797	S1	S60	35	25	60	○			68		68	
地域福祉センター2		923	RC2	H13	19	61	80	○			92		92	
旧北部診療所		160	W1	S61	34	26	60	○			16		16	
町営湯ノ原団地		853	CB1	S48	47	13	60	○			204		204	
町民住宅		232	S2	S58	37	23	60	○			20		20	
楓の湯		294	W1	H14	18	42	60	○			37		37	
改修・更新費													3,027	
修繕費													980	
事業費計													4,007	

#### (2) 解体事業

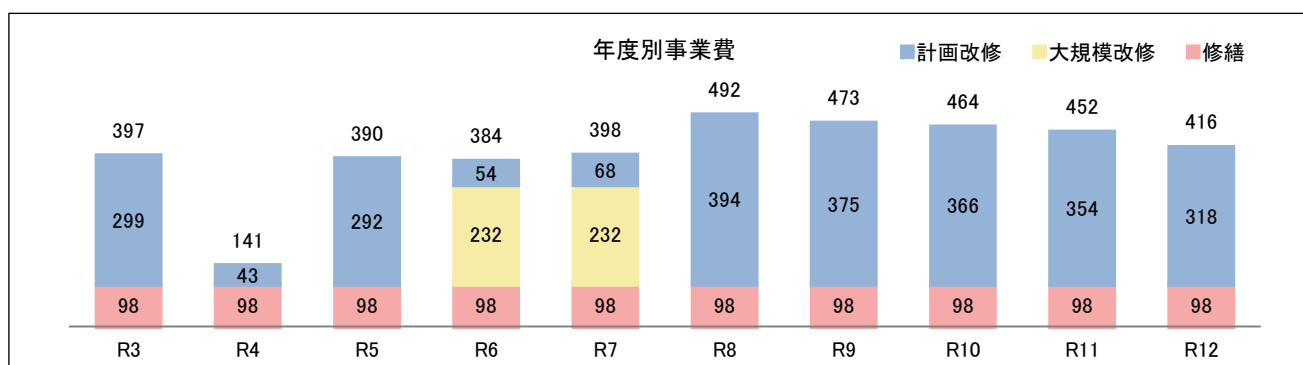
類型別方針に基づき、北部公民館、社会体育館、旧泉保育園、町営湯ノ原団地の一部、町営座王団地、志賀高原総合案内所、生活改善センター、役場分室、旧和合保育園の解体(19億9,200万円)を予定します。

年度別事業計画

	名称	竣工年度	計画期間 (2021~2030年)										
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
文化・コミュニティ施設	文化センター	S62			設計	大規模							
						232	232						
	ほなみふれあいセンター	H5					設計	計画					
								151					
	よませふれあいセンター	H7		設計	計画								
					153								
	(仮称)すがかわふれあいセンター	S49	計画										
			255										
学校施設	東小学校	南棟	S56					設計	計画				
									95	95	95		
		中棟	S57						設計	計画			
										112	112		
		北棟	S58					設計	計画				
									100	100			
		大体育館	S57				設計	計画					
								48	48				
	南小学校	教室棟	H元									設計	計画
													158
		屋内体育館	H元								設計	計画	
												52	52
	西小学校	特別教室棟	S60									設計	計画
												65	
管理教室棟		S60									設計	計画	
												158	
	学年教室棟	S60								設計	計画		
											96		
	屋内体育館	S60								設計	計画		
											79		
山ノ内中学校	格技室棟	S59		設計	計画								
					39								
子育て支援施設	すがかわ保育園	S61								設計	計画		
											63		
	子育て支援センターゆめっこ	S60							設計	計画			
										68			
健康福祉施設	地域福祉センター2	H13										設計	計画
													92
	旧北部診療所	S61										設計	計画
													16
住宅施設	町営湯ノ原団地	S48	計画										
			44	43	63	54							
	町民住宅	S58				設計	計画						
							20						
観光施設	楓の湯	H14		設計	計画								
					37								

※下段は事業費(百万円)

※事業費が確定していないものは試算ソフト単価で算出



## 第2節 計画の継続的運用

### 1 情報基盤の整備と活用

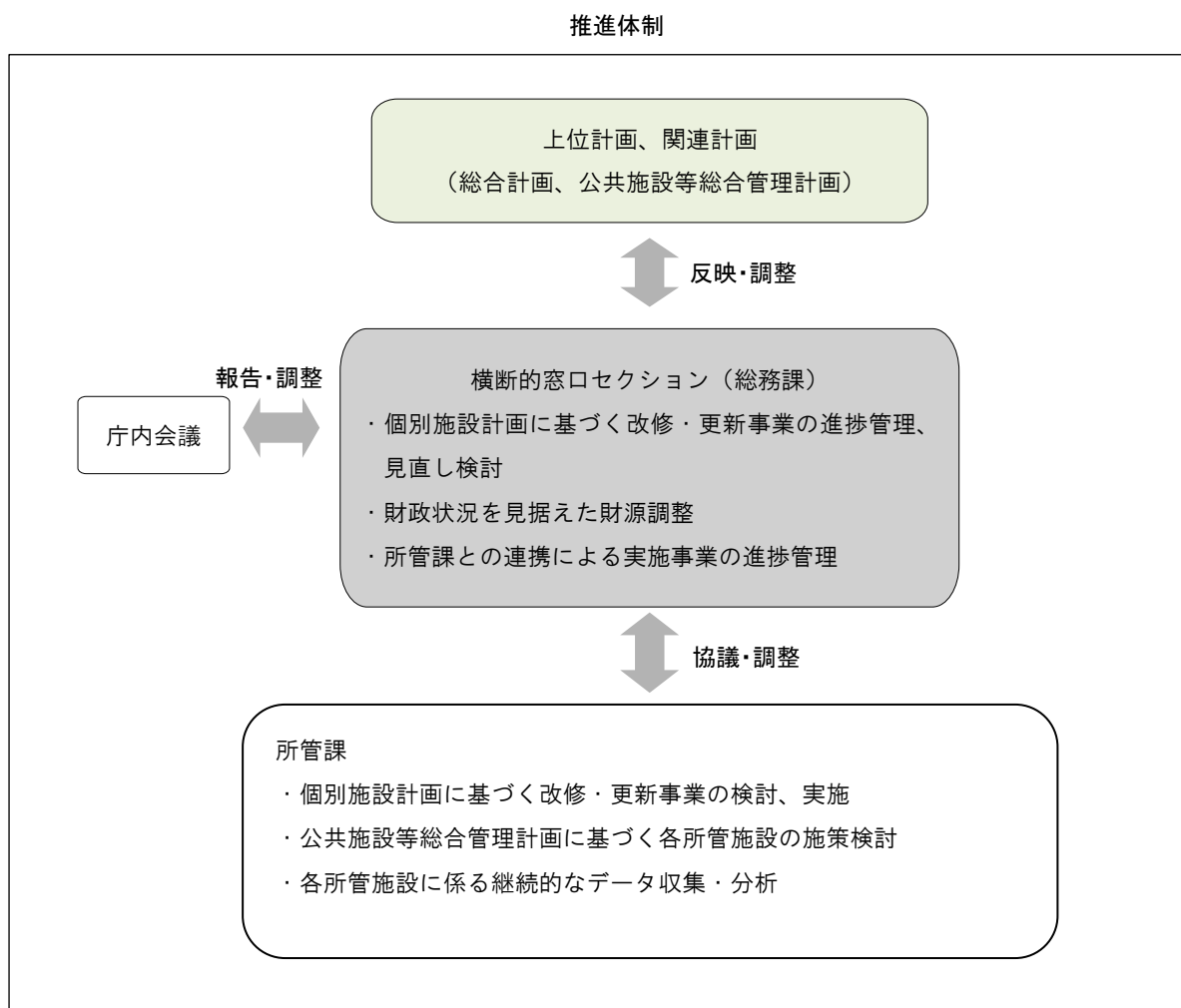
公共施設は、建物単位で劣化調査や定期点検、日常点検の実施結果も含めてデータをカルテ形式、データベース形式で管理します。

また、建物単位での修繕・改善履歴データの整理を行い、履歴の確認や修繕・改善の発生原因の検証等に役立てるものとします。

### 2 推進体制の構築

本計画を推進するため、これまでの「事後保全」の考え方ではなく、「予防保全」の視点に立つという共通認識のもと、公共施設を日常的に管理している所管課と予算マネジメントを担当する総務課の連携を十分に図ります。施設の所管課は本計画に基づく施設の改修・更新実施時期を見据えた検討を行うとともに、所管施設の現状把握を行い、財源調整を十分に行ったうえで、事業内容の精査⇒事業実施⇒事業評価というサイクルを通して、評価・検証・見直しを進めます。

また、総務課を中心に本計画に基づく改修・更新事業について毎年度進捗状況を確認し、全体調整を図るなど計画の管理体制を整備します。

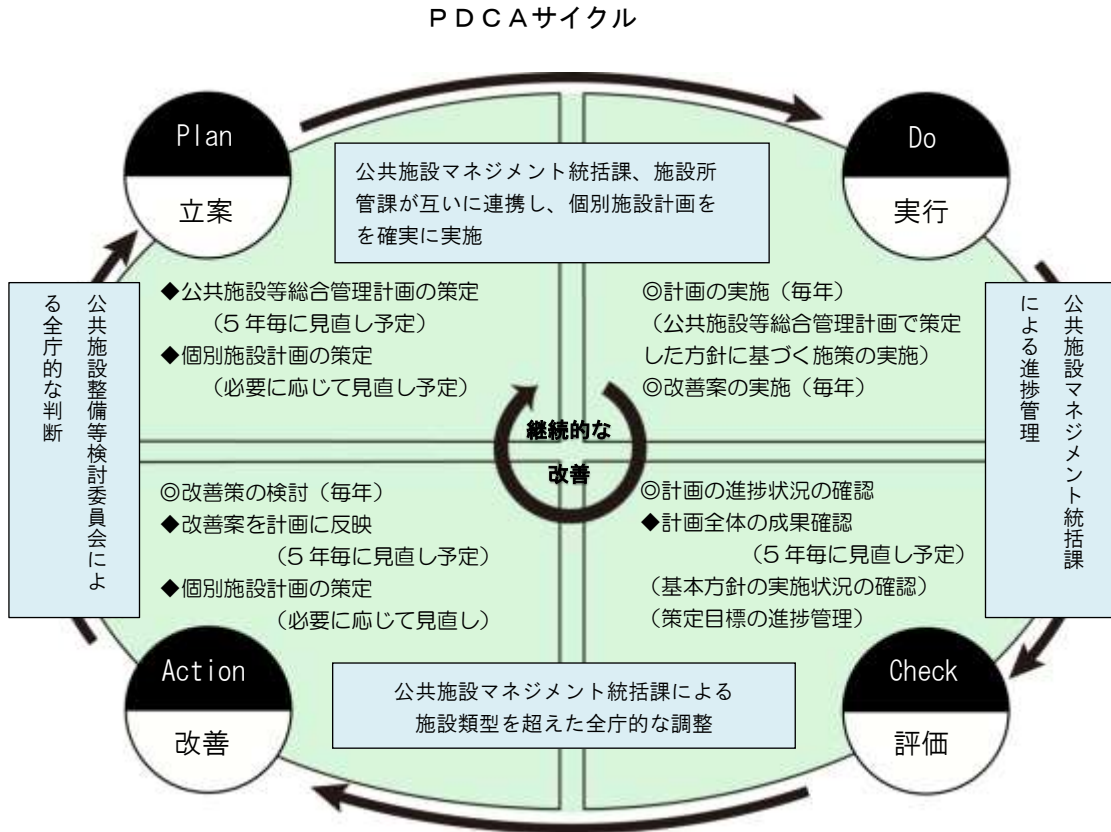




### 3 フォローアップ

個別施設計画を推進する中で、PDCAサイクル等の手法により進行管理を実施しながら、本計画のフォローアップを行うとともに、公共施設全般のマネジメントに関する進行管理手法について検討します。

計画の見直しに当たっては、事業の進捗状況や、財政状況を見据えながら概ね5年ごとに見直しを行うものとします。



### 4 今後の課題

本計画は、計画期間について、支出可能な投資額に配慮して実現可能な事業計画としていますが、計画期間（10年間）以降については不足が生じることとなり、事業実施時期の見直しや財源の確保が必要となります。

今後も、町民のニーズを適切に把握したうえで、引き続き公共施設の最適なあり方を検討していきます。また、既存施設について改修・更新の際には、将来的な施設のあり方を見据えた上で実施するものとします。



山ノ内町公共施設個別施設計画

令和3年3月

発行 長野県山ノ内町

編集 山ノ内町総務課

〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町平穩 3352-1

TEL 0269-33-3111 FAX 0269-33-4527